

武蔵野市の年次財務報告書

平成 26 年度版

平成 27 年 9 月



はじめに

武蔵野市は、市民の皆様への説明責任を果たすとともに、効率的・効果的な行政運営を推進し市民サービスの向上につなげていくためのひとつの方法として、平成10年度決算から企業会計的手法による財務諸表を独自方式で作成し、平成14年度決算から一般会計、特別会計、公営企業会計に財政援助出資団体（市が出資、出えんなどを行い、密接な関連を有する団体）の会計までを含めた連結貸借対照表、連結行政コスト計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結正味財産増減表を公表してきました。

全国の自治体では、「基準モデル」や「総務省方式改訂モデル」による財務書類の作成が行われてきていますが、平成27年1月に総務省より、複式簿記の導入と固定資産台帳の整備を前提とした「統一的な基準」に基づく財務書類を作成するよう要請がありました。

本市においても、複式簿記の導入や固定資産台帳の整備を進め、分かりやすく役に立つ財務情報となるように改善を図ってまいります。

本市の財政状況は、財政指標や資産残高から健全な水準を維持しているといえますが、今後も市有施設の更新や扶助費などの歳出の増加が予想されるため、財政規律を守り、効率的・効果的な行政経営を推進し、サービスの充実を図りながら財政の健全性を確保してまいります。

目 次

I 武蔵野市の財政状況	3
1 財務諸表からみた財政状況	4
2 近隣団体及び類似団体の財政状況（平成 25 年度）	8
3 主な財政指標	9
4 健全化判断比率及び資金不足比率	9
II 一般会計財務諸表	11
1 一般会計財務諸表の分析	12
<< 貸借対照表 >>	12
<< 行政コスト計算書 >>	17
<< キャッシュ・フロー計算書 >>	22
2 一般会計財務諸表	24
武蔵野市貸借対照表	24
武蔵野市行政コスト計算書	26
武蔵野市キャッシュ・フロー計算書	28
3 一般会計財務諸表に対する注記	30
<< 重要な会計方針 >>	30
<< 注記事項 >>	32
<< その他 >>	39
4 主な建物一覧表（取得価格 3 億円以上）	41
III 連結財務諸表	43
1 連結財務諸表の分析	44
2 連結財務諸表	50
連結貸借対照表、連結行政コスト計算書、連結正味財産増減計算書	50
連結キャッシュ・フロー計算書	52
連結貸借対照表（明細表）、連結行政コスト計算書（明細表）、連結正味財産増減計算書（明細表）	54
連結キャッシュ・フロー計算書（明細表）、会計間取引明細	56
3 連結財務諸表に対する注記	58
<< 重要な会計方針 >>	58
用語集	59

※ 金額は四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない場合があります。

I 武蔵野市の財政状況

1 財務諸表からみた財政状況

・財務内容の健全性

貸借対照表の資産に対する正味財産の比率が90.8%と高い水準を維持しています。負債のうち借入金の残高は182億円であり、収入のうち一般財源421億円の0.43年分に相当し、健全な財務状況です。

・施設更新への備え

貸借対照表の資産の基金のうち施設の更新のための基金は289億円です。施設の更新には多額の費用が必要なため、基金の積立を今後も着実に進めます。

・行政運営の効率性

行政コスト計算書の収支差額は黒字を維持しており、効率的な行政運営がなされています。今後も社会保障費などの増加が見込まれるため、より一層効率的、効果的な財政運営を行う必要があります。

(1) 財務内容の健全性 ～行政サービスの提供は持続可能か～

① 借入金 は健全な水準にあります 【表1】

平成26年度末の一般会計の借入金残高は182億円です。これは公共施設などの固定資産の形成などに充てられており、固定資産の残高（減価償却後）2,447億円に占める借入金の割合は7.4%と低い水準です。また、借入金残高182億円は、平成26年度の収入のうち一般財源421億円の0.43年分に相当します。欧米における健全な借入金の水準は税収の1～2年分程度といわれていますので、武蔵野市における借入金残高は、健全な水準にあるといえます。今後も財政規律を緩めることなく堅実な財政運営を行っていきます。

② 正味財産 は維持されています 【表2】

正味財産比率（正味財産合計÷資産合計）は、90.8%と引き続き高い水準を維持しています。この比率が高いほど、財政が健全であるとともに、これまでの世代の負担により資産を形成してきたこと、将来世代へ負担を先送りしない財政構造であることを表しています。

③ 連結会計においても借入金や正味財産は良好な水準にあります 【表3】

一般会計と連結会計（一般会計・特別会計・公営企業会計・財政援助出資団体）を比較すると、連結会計では資産3,614億円、負債596億円、正味財産3,018億円となり、それぞれ一般会計の1.24倍、2.22倍、1.14倍です。正味財産比率は、一般会計の90.8%に対して連結会計では83.5%です。連結会計の借入金の比率が一般会計より高いのは、下水道事業会計、水道事業会計、武蔵野市土地開発公社等の借入金残高が大きいからです。今後も公社の保有する土地の有効活用を図ることにより、市民サービス水準の向上に努めます。

【表1】過去5年間の財政状況（一般会計）

（単位：億円）

財務諸表		説明	22	23	24	25	26年度
貸借対照表	借入金 （市債）	将来世代が負担していく負債 財政の持続可能性を見る	234	222	204	193	182
	正味財産	これまでの世代が負担し形成 した財産	2,431	2,479	2,508	2,571	2,636
行政コスト 計算書	収入	サービスのコストを賄う財源 （市民の負担）	530	533	525	544	570
	支出	提供されたサービスのコスト （市民の受益）	※491	497	502	499	527
	収支差額	正味財産の増加（受益と負担 の差額）	39	36	23	45	43
キャッシュ・ フロー計算書	行政活動の 資金収支	行政活動（サービス・資産形 成活動）の現金収支	0	41	34	30	39

※平成22年度の行政コスト計算書は、減価償却方法を変更したことによる追加償却費40億円を支出額から除いている。

【表2】正味財産（一般会計）の推移

（単位：億円）

		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26年度
正味財産比率%		84.0	85.1	86.0	87.0	87.9	88.0	88.7	89.6	90.3	90.8
借方	資産	2,574	2,653	2,685	2,737	2,762	2,761	2,795	2,800	2,846	2,904
貸方	負債	411	394	377	356	333	330	316	292	275	268
	正味財産	2,163	2,259	2,308	2,381	2,429	2,431	2,479	2,508	2,571	2,636

【表3】一般会計と連結会計の比較

	一般会計		連結会計	
	金額（億円）	構成比	金額（億円）	構成比
総資産	2,904	100.0%	3,614	100.0%
うち固定資産	2,447	84.3%	3,083	85.3%
総負債	268	9.2%	596	16.5%
うち借入金	182	6.3%	446	12.3%
正味財産	2,636	90.8%	3,018	83.5%

(2) 施設更新への備え

～市債償還の支払能力はあるか、また今後予想される市有施設の更新・新設に対応できるか～

① 市債（借入金）残高は健全な水準にあり、資産の更新・新設に

対応できるように基金を積み立てています 【表4】【表5】

第1に、市債残高は健全な水準にあり、一般会計では収入のうち一般財源の0.43年分、連結会計では0.96年分に相当し、償還能力は非常に高いといえます。

第2に、市有施設の更新・新設のための自己資金としては、公共施設整備基金や学校施設整備基金、吉祥寺まちづくり基金、公園緑化基金などの基金を積み立てており、資産の更新・新設に備えた基金の残高は289億円になります（財政調整基金を除く特定目的基金の残高は302億円）。一方、武蔵野市第五期長期計画では、平成24年度を初年度とした今後20年間に見込まれる大型投資等を1,600億円と試算しています。これに備えた基金の積立を今後も着実に進めます。

② 資金（キャッシュ・フロー）はバランスの良い資源配分を行っています 【表6】

平成26年度は、行政サービス収支は79億円の黒字（前年度比5億円増）となった一方で、資産形成収支は、40億円の赤字（前年度比4億円減）となりました。財務活動収支は、計画的な市債償還を進めると同時に今後の公共施設や学校施設等の更新に備えて基金の積立が増加したため、24億円の赤字（前年度比11億円減）となりました。

過去5年間の平均で資金の動きを見ると、行政サービス収支の黒字66億円に対して、資産形成収支は37億円の赤字です。差し引き29億円がフリー・キャッシュ・フローになり、この黒字を財務活動収支の赤字27億円（市債の償還や基金の積立）に充てています。歳計現金は30億円前後を維持しており、バランスのとれた資源配分といえます。

(3) 行政運営の効率性 ～効率的で効果的な行政経営が行われているか～

行政コスト計算書の収支差額は黒字を維持しています 【表6】

行政コスト計算書により、減価償却費など発生主義による非現金コストを含めたフル・コストを、当期の収入で賄えているかどうか把握できます。平成26年度は43億円の黒字となりました。収支差額がプラスであることは、フル・コストで見て1年間の費用が1年間の収入で賄えていること（受益と負担の公平性）を示します。また、過去5年間の収支差額が同程度になっていることは、世代間負担の公平性が維持されていること意味しています。

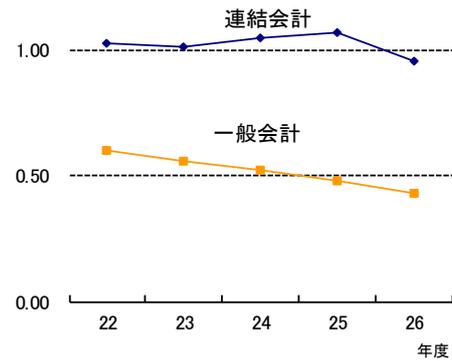
平成26年度の収支差額は、前年度に比べ2億円減少しました。収入では市税や国庫支出金が増加した一方で、支出では扶助費や退職給与引当金繰入額が増加したことによります。今後は市税収入の大幅な増加が期待できないなか、老朽化した施設の大規模改修や更新、扶助費等の伸びにより支出が増え、厳しい財政状況が予想されます。健全な財政を維持していくために、より一層効率的で効果的な財政運営を行っていく必要があります。

【表4】収入に対する借入金残高の比率

(単位：億円)

連結会計	22	23	24	25	26 年度
借入金残高	450	450	464	481	446
収入(一般財源)	437	446	441	449	467
借入金÷収入	1.03	1.01	1.05	1.07	0.96

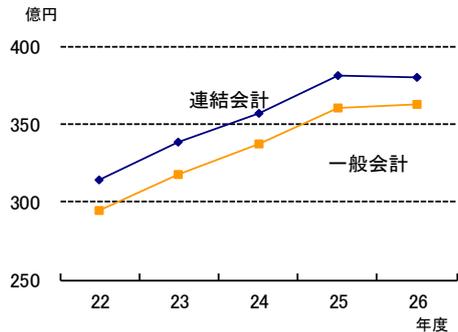
一般会計	22	23	24	25	26 年度
借入金残高	234	222	204	193	182
収入(一般財源)	392	400	395	403	421
借入金÷収入	0.60	0.56	0.52	0.48	0.43



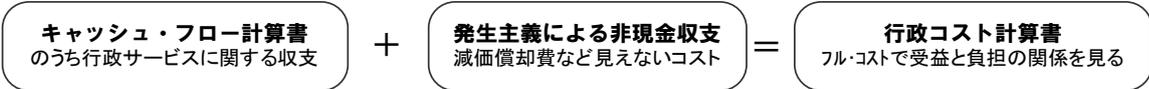
【表5】年度別基金現在高

(単位：億円)

一般会計	22	23	24	25	26 年度
財政調整基金	61	61	61	61	61
特定目的基金	234	257	276	300	302
うち資産の更新・新設に備えた基金	208	234	255	283	289
合計	295	318	337	361	363
連結会計合計	314	339	357	382	380



【表6】キャッシュ・フロー計算書と行政コスト計算書(一般会計)



キャッシュ・フロー計算書	22	23	24	25	26 年度	平均 (22~26)
収支差額 (A+B+C)	△ 6	5	△ 1	△ 5	15	2
行政サービス収支 (A)	54	69	51	74	79	66
資産形成収支 (B)	△ 54	△ 28	△ 17	△ 44	△ 40	△ 37
財務活動収支 (C)	△ 6	△ 36	△ 35	△ 35	△ 24	△ 27
※フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	0	41	34	30	39	29
歳計現金 (形式収支)	27	31	30	25	40	31

※フリー・キャッシュ・フローとは、行政サービスに要した現金収支と資産形成(建物や道路の建設費)に要した現金収支を合計したもので、黒字の場合、この現金を財務活動(借入金の返済・基金の積立)に充当しています。

発生主義による非現金収支を加える
 減価償却費など見えないコストも含める。
 これらのコスト情報を、毎年の事務事業評価に活用。

行政コスト計算書	22	23	24	25	26 年度	平均 (22~26)
収入	530	533	525	544	570	540
うち市税	365	372	369	375	387	374
支出	※491	497	502	499	527	503
うち発生主義による非現金コスト	※24	35	31	31	38	32
収支差額	39	36	23	45	43	37

発生主義による非現金コスト：減価償却費、有形固定資産除却損、貸倒引当金繰入額、退職給与引当金繰入額
 ※平成22年度の行政コスト計算書は、減価償却方法を変更したことによる追加償却費40億円を支出額から除いている。

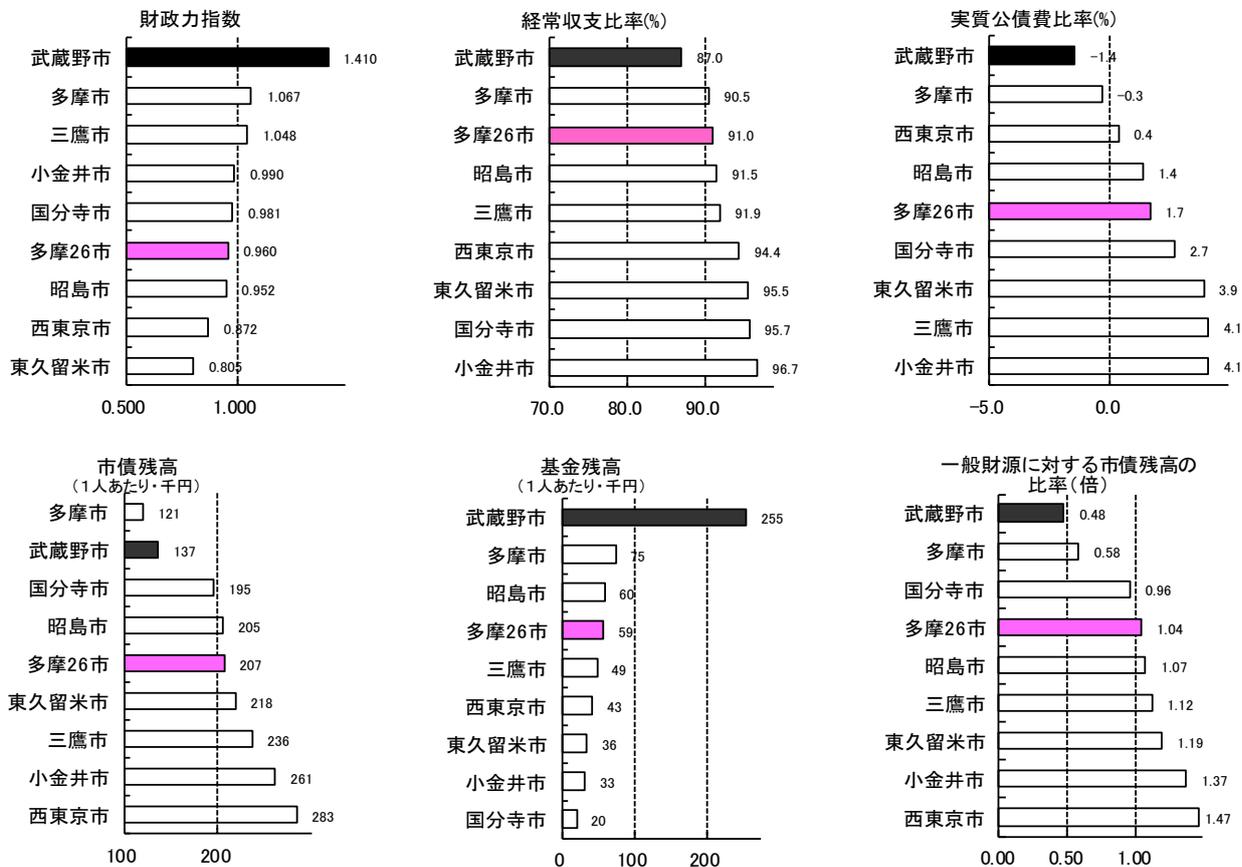
2 近隣団体及び類似団体の財政状況（平成25年度）

財政力を示す指標について近隣市や類似団体と比較すると、26市の平均を全て上回っており、良好な財政状況です。

		財政力指数	経常収支比率 (%)	実質公債費比率 (%)	市民1人当たり		一般財源に対する 市債残高の比率 (倍)
					市債残高 (千円)	基金残高 (千円)	
武蔵野市		1.410	87.0	△ 1.4	137	255	0.48
近隣 団体	三鷹市	1.048	91.9	4.1	236	49	1.12
	西東京市	0.872	94.4	0.4	283	43	1.47
	小金井市	0.990	96.7	4.1	261	33	1.37
昭島市		0.952	91.5	1.4	205	60	1.07
類似 団体	小金井市（再掲）	0.990	96.7	4.1	261	33	1.37
	国分寺市	0.981	95.7	2.7	195	20	0.96
	東久留米市	0.805	95.5	3.9	218	36	1.19
多摩市		1.067	90.5	△ 0.3	121	75	0.58
多摩26市		0.960	91.0	1.7	207	59	1.04

（注）類似団体：市町村を人口と産業構造の組み合わせで分類し、武蔵野市と同じ類型に属する団体。

一般財源：市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税及び交通安全対策特別交付金の合計額



出典：東京都総務局発行「平成25年度 市町村決算状況調査結果」

3 主な財政指標

表7は過去5年間の武蔵野市の財政指標の数値です。財政力指数は、財政基盤の強さや財政構造の弾力性等を示す指標で、全国の地方自治体の財政状況を同じ尺度ではかることができません。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、年度毎に増減していますが、平成26年度は、人件費の削減、納税義務者の増加による市税の増加等によって前年度比2.3ポイント減少しました。

※用語集 P.59～参照

【表7】過去5年間の財政指標

財政指標	22	23	24	25	26 年度
財政力指数（3年平均）	1.547	1.483	1.432	1.410	1.412
経常収支比率	88.6%	86.2%	88.8%	87.0%	84.7%
公債費負担比率	5.6%	5.8%	5.8%	5.3%	5.0%
実質公債費比率（3年平均）	△0.7%	△1.6%	△1.9%	△1.4%	△1.3%
実質収支比率	6.8%	8.1%	7.9%	6.5%	5.7%

4 健全化判断比率及び資金不足比率

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が公布されたことにより、地方公共団体は毎年、健全化判断比率及び資金不足比率を算定するとともに、それらを監査委員の監査に付した上で議会に報告し、公表することが義務付けられました。これにより、健全化判断比率、資金不足比率が一定の基準以上となった団体は、財政健全化計画の策定などが必要になります。

本市は、この基準を大幅に下回っており、健全な財政を維持しています。表8の実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字を正数で示すため、黒字の場合はマイナス表示になります。また、将来負担比率は、将来負担する額よりも充当できる財源が多いため、その超過率をマイナスで表示しています。

※用語集 P.60 参照

【表8】過去3年間の健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率		実質赤字比率 (%)	連結実質赤字比率 (%)	実質公債費比率 (%)	将来負担比率 (%)	資金不足比率	
26年度	武蔵野市	△ 5.71	△ 11.05	△ 1.3	△ 74.2	下水道事業会計	△ 8.2
	早期健全化基準	11.50	16.50	25.0	350.0	水道事業会計	△ 40.9
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0		経営健全化基準	20.0
25年度	武蔵野市	△ 6.54	△ 11.86	△ 1.4	△ 79.0	下水道事業会計	△ 6.0
	早期健全化基準	11.55	16.55	25.0	350.0	水道事業会計	△ 41.1
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0		経営健全化基準	20.0
24年度	武蔵野市	△ 7.85	△ 12.70	△ 1.9	△ 71.0	下水道事業会計	△ 0.5
	早期健全化基準	11.53	16.53	25.0	350.0	水道事業会計	△ 43.6
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0		経営健全化基準	20.0

Ⅱ 一般会計財務諸表

1 一般会計財務諸表の分析

◀ 貸借対照表 ▶

(1) 貸借対照表の概要 【表9】

平成26年度の資産合計は2,904億円（58億円増加）、負債合計は268億円（7億円減少）、正味財産合計は2,636億円（65億円増加）です。資産規模は歳入決算額の4.4倍です。市民1人当たりで見ると、資産203万円、負債19万円、正味財産184万円です。資産形成の財源を、将来世代が負担する負債と、これまでの世代が負担した正味財産に分けて見ることができます。

武蔵野市		市民1人当たりで見ると 26年度末 142,899人	市民1人当たり	
資産 2,904億円	負債 268億円		資産 203万円	負債 19万円
	正味財産 2,636億円		正味財産 184万円	

(2) 資産・負債・正味財産の内訳 【図1】

資産のうち、固定資産が84.3%を占めています。また、資産の61.1%が土地です。これは、平均地価の高い武蔵野市の特徴です。負債及び正味財産では、負債が全体の9.2%、正味財産が90.8%です。正味財産の比率が高いということは、資産形成について、現在までの世代ですでに負担し、将来の世代へ引き継ぐものが多いことを意味します。

(3) 資産形成と財源の関係 【表10】

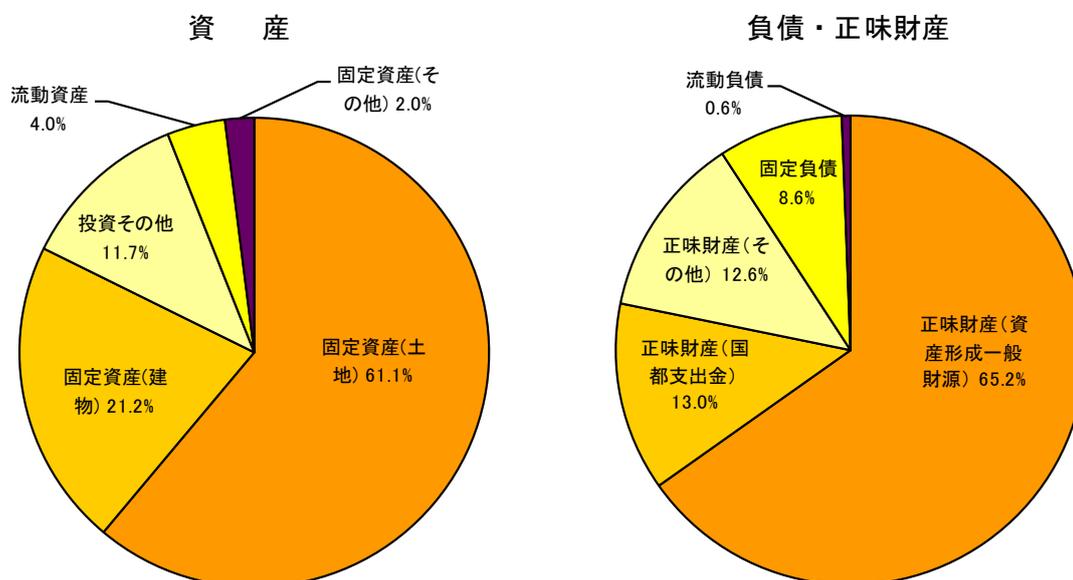
固定資産の財源で一般財源等の比率が78.2%と高いのは、現行の交付税制度になった昭和29年度以来、武蔵野市は普通交付税の不交付団体であり、資産形成にあたっては、主に自主財源である市税などにより手当てされてきたことを示しています。

また、建物・構築物の耐用年数と債務の償還期間について見ていくと、耐用年数が40年（道路・橋りょうは30年）であるのに対して、建設のために借り入れた市債の償還年数は、通常最長でも25年であり、市債の償還が終了してから耐用年数までの5年から15年の期間は、次の世代が市債の返済の負担なしで施設を利用することができるといえます。

【表9】財政状況の推移

年度	人口 (各年度末)	歳入決算 (A)億円	資産 (B)億円	負債 (C)億円	正味財産 (D)億円	正味財産比率 (D)/(B)%	資産規模 (B)/(A)倍	市民1人あたり (万円)		
								資産	負債	正味財産
22	136,003	618	2,761	330	2,431	88.0	4.5	203	24	179
23	136,043	601	2,795	316	2,479	88.7	4.7	205	23	182
24	139,535	588	2,800	292	2,508	89.6	4.8	201	21	180
25	141,584	623	2,846	275	2,571	90.3	4.6	201	19	182
26	142,899	658	2,904	268	2,636	90.8	4.4	203	19	184

【図1】資産、負債・正味財産の構成



【表10】資産形成とその財源

(単位：億円)

固定資産	25年度	26年度	構成比		財源	25年度	26年度	構成比	
			25年度	26年度				25年度	26年度
土地	1,747	1,775	72.3%	72.5%	国・都支出金	359	378	14.9%	15.4%
建物・構築物	625	615	25.8%	25.1%	市債	159	156	6.6%	6.4%
備品・車両	3	2	0.1%	0.1%	一般財源等	1,899	1,913	78.5%	78.2%
事業負担金	40	38	1.7%	1.6%					
建設仮勘定	2	17	0.1%	0.7%					
計	2,417	2,447	100.0%	100.0%	計	2,417	2,447	100.0%	100.0%

(4) 長期計画の分野別の資産形成（建物・構築物）

土地を除く固定資産の取得額と減価償却累計額を第五期長期計画の分野ごとにまとめたのが下記の表11の一覧です。取得価額のうち減価償却済の金額の割合を示す老朽化比率により資産の老朽化度合がわかります。平成26年度末時点の行政財産の老朽化比率は53.9%です。5年間の老朽化比率の推移は表12のとおりです。

【表11】長期計画分野別資産形成

分 野 別	取得価額 (A)	減価償却累計額 (B)	差引額	(単位：千円)
				老朽化比率 (B/A)
行政財産(道路・橋りょう含む)	129,461,278	69,726,750	59,734,528	53.9%
1 健康・福祉	6,542,243	4,236,744	2,305,499	64.8%
2 子ども・教育	36,017,754	19,049,944	16,967,810	52.9%
3 文化・市民生活	28,650,654	15,239,554	13,411,100	53.2%
4 緑・環境	3,515,507	1,202,218	2,313,289	34.2%
5 都市基盤	45,099,825	25,068,058	20,031,767	55.6%
インフラ	42,812,069	24,553,300	18,258,769	57.4%
その他	2,287,756	514,758	1,772,998	22.5%
6 行・財政	9,635,295	4,930,232	4,705,063	51.2%
普通財産	3,041,368	1,290,545	1,750,823	42.4%
合 計	132,502,646	71,017,295	61,485,351	53.6%

【表12】老朽化比率の経年比較

	22	23	24	25	26 年度
行政財産	48.1%	49.5%	51.2%	52.4%	53.9%
普通財産	33.6%	36.2%	38.7%	40.9%	42.4%
合 計	47.7%	49.1%	50.9%	52.1%	53.6%

(5) 市有施設の更新コストと財源について

※ P32【表19】固定資産明細表参照

市有施設は、減価償却により毎年約20億円分の価値が減少します。その総額である減価償却累計額は、平成26年度末で452億円になり、物価水準の変化が反映されませんが、市有施設の更新コストの下限の目安にはなりません。また、第五期長期計画では、平成24年度を初年度とした今後20年間に見込まれる大型投資等を1,600億円と試算しています。

市有施設の更新コストが一時期に集中すると、後年度に過大な財政負担等を及ぼすことになります。現在、公共施設保全整備の方針に基づき市有施設の計画的な維持管理を行い、供用期間を延ばすとともに、公共施設再編に関する基本的な考え方に基づき、今後の公共施設及びサービスのあり方、既存施設の長寿命化・有効活用や総量縮減等の検討を行っています。結果を公共施設等総合管理計画としてまとめ、計画的に維持・更新を行い、健全な行財政運営を維持していきます。

(6) 市債の残高と返済能力

市債とは、道路や学校などの整備のために行う長期の借入金のことです。建設時点の市民だけでなく、その施設を利用する次の世代の市民にも費用負担を求めるという観点で、5年から25年かけて返済をし、世代間の公平性を保つための方法として位置づけられています。

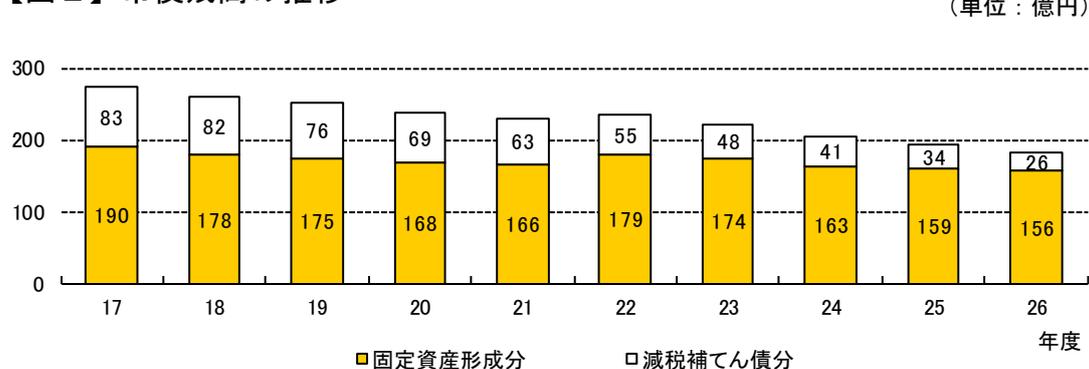
平成26年度末の市債残高は182億円で、収入のうち一般財源421億円の0.43年分相当であり、市債残高は低い水準にあるといえます。一方、キャッシュ・フローでみると、平成26年度の市債の償還額は元金が22億円、利子が2億円、合計で24億円でした。これは、一般財源421億円の5.7%です。今後10年間の市債償還予定額をみると、平成27年度以降の償還額は10～19億円ですので、行政の簡素化・効率化を図りながら、十分返済していくことができる金額です。

【表13】収入（一般財源）と市債残高

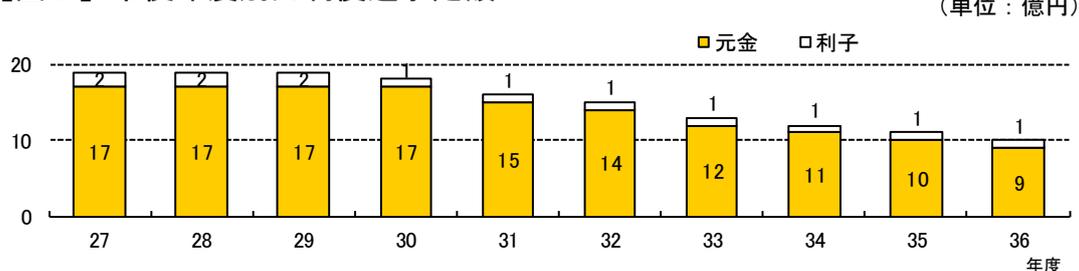
年度	収入（一般財源）(A)	市債残高(B)	(B/A)
平成22年度	39,225,098	23,414,780	0.60
平成23年度	39,965,743	22,155,118	0.56
平成24年度	39,463,818	20,372,525	0.52
平成25年度	40,343,080	19,256,080	0.48
平成26年度	42,085,641	18,180,140	0.43

※収入（一般財源）は、市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税及び交通安全対策特別交付金の合計額としています。

【図2】市債残高の推移



【図3】市債年度別元利償還予定額



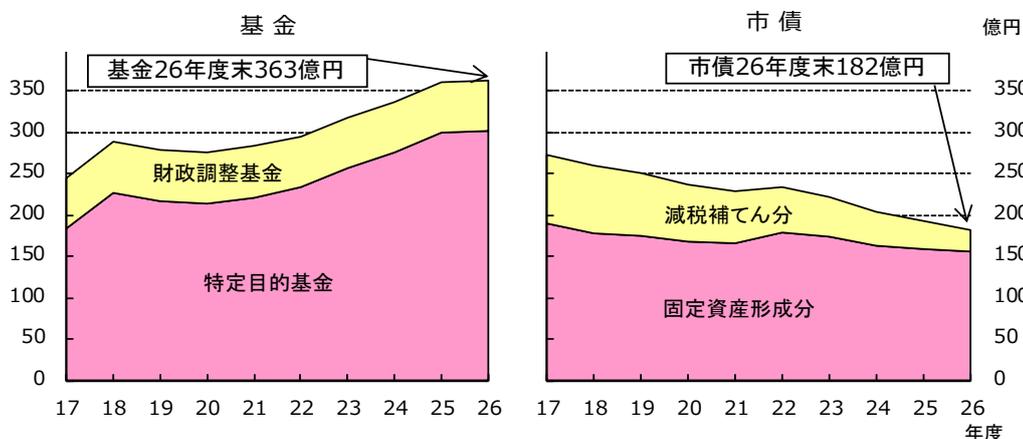
※新規の借入れはないものとして計算しています。

(7) 基金と市債の状況

市の貯金である基金の平成26年度末残高は363億円（財政調整基金61億円、公共施設整備基金、学校施設整備基金などの特定目的基金302億円）です。一方、市の借金である市債の残高は、182億円（固定資産形成分156億円、減税補てん分26億円）です。基金残高（貯金）が市債残高（借金）より181億円多く（前年比13億円増）、良好な財政状況にあるといえます。行政財産のうち建物の減価償却累計額は452億円に達しており、これら公共施設の今後の更新に備えて、計画的に基金を積立てています。

基金は、目的ごとに事業実施のために積み立て、必要に応じて取り崩し、事業の財源とします。一方、市債は、世代間の公平性の観点から将来の税収により償還すべきもので、原則基金を取り崩して償還に充てることはありません。今後の市税収入、市債償還額の推移などを見ながら、世代間の公平性を保ちつつ、資産の形成及び市債の借入を行っていくことが重要です。

【図4】基金と市債の年度末残高の推移



(8) 市税等未収金の回収

平成26年度の市税等未収金は17億円で、前年度より3億2千万円減少しました。市税等未収金の一部が回収不能になることに備え、平成26年度は貸倒引当金1億4千万円（前年度比2千万円減）を計上しています。今後も財源の確保のため、市税の徴収率向上に努めていきます。

【表14】平成26年度貸倒引当金

	(単位：千円)				
	収入未済 A	不納欠損 B	小計 C=A+B	不納欠損率 D=B/C	貸倒引当金 A×D
市税	1,476,173	120,260	1,596,433	0.075	110,713
分担金・負担金	6,040	338	6,378	0.053	320
使用料・手数料	10,981	280	11,261	0.025	275
諸収入	185,340	33,947	219,287	0.155	28,728
合計	1,678,534	154,825	1,833,359	-	140,036

【表15】市税の徴収率(%)と不納欠損額

年度	(単位：千円)				
	22	23	24	25	26年度
市税徴収率	93.8	93.8	94.7	95.2	96.0
市税不納欠損額	91,647	247,105	133,862	164,705	120,260

◀ 行政コスト計算書 ▶

行政コスト計算書は、行政サービス（行政が提供する資産形成以外のすべてのサービス）のコストを計算するためのものです。発生主義会計に基づき、事業費や職員人件費などの「現金支出」と、減価償却費、退職給与引当金繰入や貸倒引当金繰入などの「非現金支出」との合計額を、行政サービスのフル・コストとして計算します。行政コスト計算書により行政サービスの受益と負担の公平性を見ることができます。

平成26年度の行政サービスコスト527億円に対し、収入は570億円であり、その収支差額は43億円となりました。市民1人当たりで見ると、行政サービスコストは36万9千円、収入は39万円9千円、収支差額は3万円となりました。

【表16】平成26年度武蔵野市行政コスト計算書

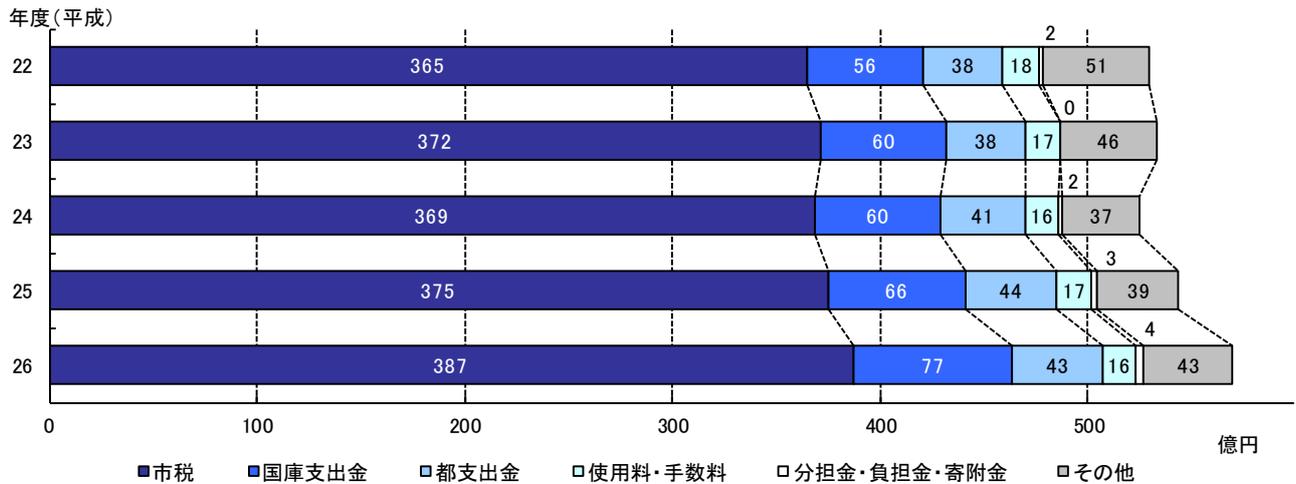
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

項 目 名		26年度 (億円)	市民1人当たり (万円)
【収入の部】	市税	387	27.1
	国・都支出金	120	8.4
	使用料・手数料	16	1.1
	分担金・負担金・寄附金	4	0.3
	その他	43	3.0
収 入 (合計)		570	39.9
【支出の部】	人件費	87	6.1
	物件費	133	9.3
	扶助費	129	9.0
	補助費等	60	4.2
	繰出金	55	3.8
	減価償却費	34	2.4
	その他	29	2.1
支 出 (合計)		527	36.9
当期収支差額		43	3.0

(1) 収入の部

収入は、市税や地方消費税交付金、国庫支出金などの増があったため、前年度比26億円増の570億円となりました。平成26年度の市税は、所得割による個人市民税が4.2%増加、固定資産税が1.7%減少、法人市民税が8.5%増加し、387億円（収入の67.9%）となりました。今期は転入者の増加や金融機関からの納税により市税が増加となりましたが、今後は消費税率10%への引き上げに伴う地方消費税交付金の増が見込まれるものの、法人実効税率引き下げなどの地方税財政制度改革、少子高齢化等の影響により、大きな伸びは期待できない状況にあります。

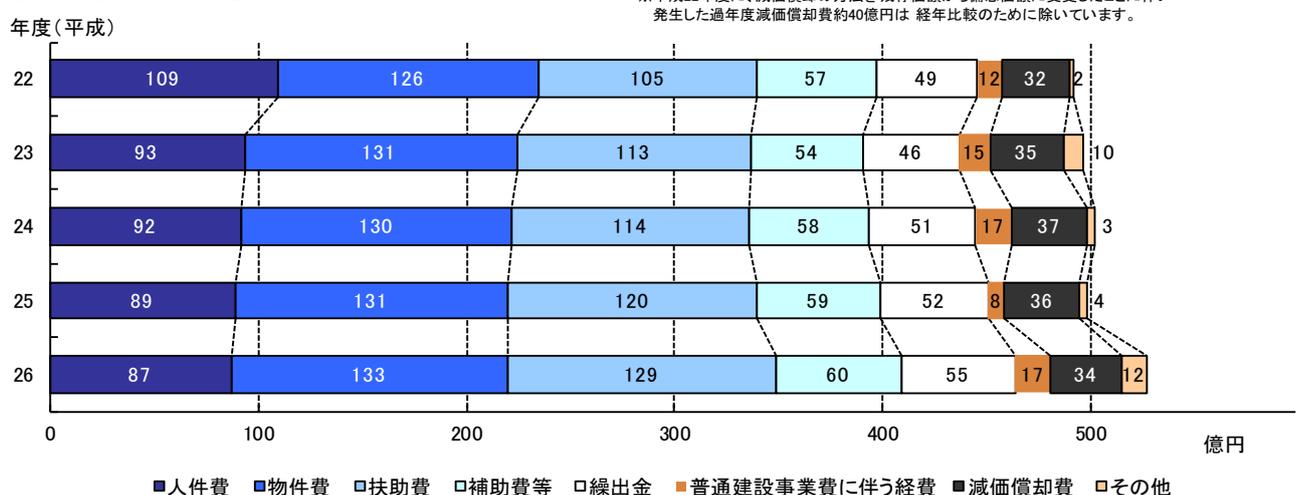
【図5】収入の推移



(2) 支出の部

支出は、扶助費9億円、普通建設事業に伴う経費9億円、退職給与引当金繰入額9億円などの増により、前年度比28億円増の527億円となりました。

【図6】支出の推移



現金の支出を性質別にみると、金額が大きい上位3区分は、物件費133億円、扶助費129億円、人件費87億円です。中でも、扶助費は平成22年度比の約1.2倍と非常に大きく伸びています。

① 扶助費

扶助費の主な内容は、生活保護法による扶助事業（37億8千万円）、障害者自立支援給付等事業（24億8千万円）、保育所運営委託事業（19億1千万円）などがあります。平成26年度は前年度比8億8千万円の増加で、主に、入所児童数の増加に伴う保育所運営委託事業（2億円）及び認可外保育施設助成事業（1億1千万円）の増加、障害者自立支援給付等事業の増加（2億2千万円）などがありました。

② 補助費等

補助費等の主な内容は、消防事務委託（15億7千万円）、東京たま広域資源循環組合負担金（3億9千万円）などがあります。平成26年度は前年度比4千万円の増加で、主に幼稚園等就園奨励費補助金の増加（9千万円）などがありました。

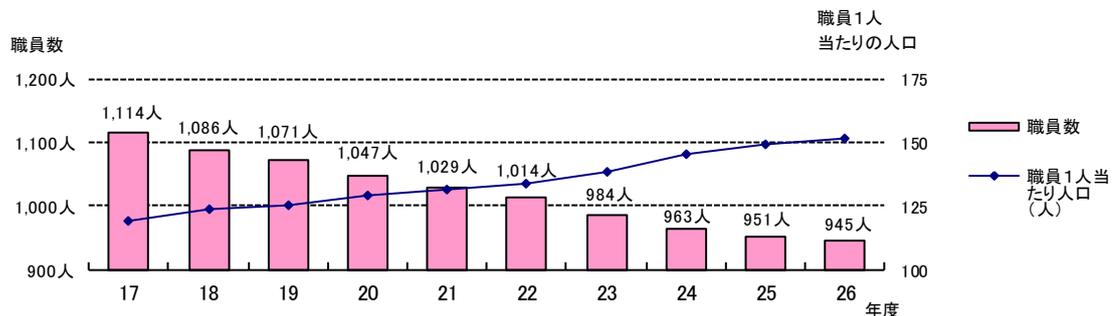
③ 繰出金

繰出金は各特別会計へ支出する経費です。国民健康保険事業会計繰出金（17億7千万円）、介護保険事業会計繰出金（15億1千万円）など4特別会計に支出しています。平成26年度は前年度比3億円の増加で、主に、経営健全化を図るための起債抑制と公共下水道建設事業の増加に伴う下水道事業会計への繰出金の増加（1億7千万円）などがありました。

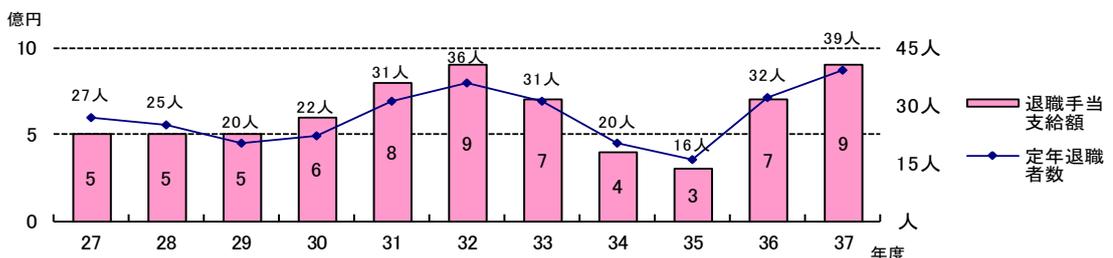
④ 人件費

人件費の主な内容は、職員給（29億円）、期末勤勉手当（12億円）、退職手当（5億円）などがあります。図7のとおり、職員数は毎年減少しており、過去10年間で169人減少しています。これとは対照的に職員一人当たりの人口は増えています。また、人件費の変動要因である退職手当の今後の見込みは図8のとおりです。

【図7】職員数、職員1人当たりの人口の推移



【図8】退職手当支給予定額と定年退職予定者数の推移



次に、現金の支出を目的別にみると、金額が大きい上位3区分は、民生費232億円、総務費67億円、教育費56億円となっています。【表17】

① 民生費

民生費の主な内容は、生活保護法による扶助事業（37億8千万円）、障害者自立支援給付等事業（26億2千万円）、保育所運営委託事業（24億9千万円）などがあります。

平成26年度の民生費は前年度比12億1千万円の増額で、主な理由として障害者自立支援給付等事業（2億3千万円）、保育所運営委託事業（2億2千万円）の増加、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金支給事業（3億1千万円）の実施などがありました。

② 総務費

総務費の主な内容は、市民文化会館の管理運営（5億1千万円）、庁舎の維持管理（3億5千万円）、コミュニティセンターの管理運営（2億7千万円）などがあります。

平成26年度の総務費は前年度比5億3千万円の減額で、退職手当（3億6千万円）、住民情報系システム（1億1千万円）の減少などがありました。

③ 教育費

教育費の主な内容は、体育施設一般管理経費（8億1千万円）、給食調理業務（6億5千万円）、武蔵野プレイス管理運営（4億9千万円）などがあります。

平成26年度の教育費は前年度比2億1千万円の増額で、私立幼稚園等助成事業の増加（9千万円）などがありました。

【表17】 目的別現金支出の推移

項 目	平成25年度		平成26年度		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
議 会 費	448,600	1.0%	435,775	0.9%	△ 12,825
総 務 費	7,205,940	15.4%	6,677,261	13.7%	△ 528,679
民 生 費	21,958,944	47.0%	23,169,017	47.4%	1,210,073
衛 生 費	4,798,896	10.3%	4,893,803	10.0%	94,907
労 働 費	261,736	0.6%	239,745	0.5%	△ 21,991
農 業 費	54,428	0.1%	55,958	0.1%	1,530
商 工 費	404,797	0.9%	391,193	0.8%	△ 13,604
土 木 費	3,219,077	6.9%	3,478,510	7.1%	259,433
消 防 費	1,839,923	3.9%	1,872,415	3.8%	32,492
教 育 費	5,430,146	11.6%	5,643,436	11.6%	213,290
災 害 復 旧 費	0	0.0%	0	0.0%	0
公債費（利子分）	293,030	0.6%	262,226	0.5%	△ 30,804
普通建設事業に伴う経費	809,895	1.7%	1,749,654	3.6%	939,759
合 計（現金による支出）	46,725,412	100.0%	48,868,993	100.0%	2,143,581

性質別と目的別をクロスしてみると、次のとおりになります。【表18】

- ① 人件費では、市役所の行政一般を受け持つ**総務費**が最も多く34億円となっています。これは退職手当を総務費から支出していることが大きな理由です。2番目は福祉を主に行う**民生費**19億円で、市立保育園など福祉関連施設の従事職員数が多いことなどによります。
- ② 物件費では、**教育費**が最も多く36億円で、給食調理業務、武蔵野プレイスや総合体育館などの管理運営委託などが理由です。2番目は保健衛生やごみ処理などを行っている**衛生費**35億円で、健康診査やごみ・資源物収集業務、クリーンセンターの運転管理業務委託です。3番目は**総務費**29億円で、市民文化会館などの文化施設の管理運営委託や住民情報系システムのサービス利用料などがあります。
- ③ 扶助費は、**民生費**128億円がそのほとんどです。生活保護費、障害者自立支援給付費、児童手当、乳幼児及び義務教育就学児医療費助成などがあります。なお、民間保育所の運営委託料や認証保育所運営費等補助金も扶助費に含まれます。
- ④ 補助費等は、**民生費**が最も多く21億円で、(公財)子ども協会への保育園・認定こども園事業補助金が主なものです。2番目に**消防費**16億円で、東京都への消防事務委託料などになります。
- ⑤ 繰出金については、**民生費**45億円は国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各特別会計に対する繰出金で、**土木費**9億円は下水道事業会計に対する繰出金です。

【表18】目的別性質別現金支出

(単位：千円)

性質別 目的別	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	繰出金	公債費 利子分	普通建設事業 に伴う経費	現金支出
議会費	391,801	34,191			9,783				435,775
総務費	3,398,792	2,856,398	61,782		360,289				6,677,261
民生費	1,949,589	1,764,683	18,976	12,779,352	2,137,871	4,518,546			23,169,017
衛生費	605,335	3,536,723	7,358	9,504	734,883				4,893,803
労働費	10,133	152,318			77,294				239,745
農業費	28,539	17,426	1,216		8,777				55,958
商工費	95,783	106,715	1,799		186,896				391,193
土木費	863,566	1,059,603	334,822		278,137	942,382			3,478,510
消防費	56,194	181,453	14,589		1,620,179				1,872,415
教育費	1,294,585	3,621,737	86,972	68,647	571,495				5,643,436
公債費 (利子分)							262,226		262,226
普通建設事業 に伴う経費								1,749,654	1,749,654
現金支出 合計	8,694,317	13,331,247	527,514	12,857,503	5,985,604	5,460,928	262,226	1,749,654	48,868,993

《 キャッシュ・フロー計算書 》

(1) キャッシュ・フロー計算書の見方

キャッシュ・フロー計算書は、行政活動を資金の流れから見るための情報で、『行政サービス』、『資産形成』、『財務』の3つの活動区分に分けて説明するものです。

① 行政サービス

福祉、子ども・教育分野など市民生活を支える様々な公的なサービスの提供に関するものです。支出は489億円（行政コスト計算書の現金による支出と等しい）でした。それに対し、市税などの収入が568億円あり、収支差額は79億円で、これらを資産形成収支と財務活動収支にあてました。

② 資産形成

道路新設や施設の大規模改修等、資産形成に関するものです。支出は65億円でした。その直接的な財源は国庫支出金や都支出金などの収入25億円ですので、差引40億円の資金不足となっています。そのため、市債や基金からの繰入金等が充てられています。

③ 財務活動

市債の借入や償還、基金の積立てや取崩しによる資金の運用、調達に関するものです。収入は、市債の借入11億円、基金からの繰入金28億円などで40億円でした。支出は、市債の元金償還22億円や基金への積立金30億円、（一財）武蔵野市開発公社への貸付金12億円などで64億円でした。計画的な市債の返済と基金の積み立てを進めたことと臨時的貸付を行ったため、差し引き24億円の赤字となりました。

《まとめ》

行政サービスの収支差額79億円、資産形成の収支差額△40億円、財務活動の収支差額△24億円、3つを合計した15億円が当期の収支差額です。前期の繰越金に当期の収支差額を加えて、当期末の歳計現金残高は40億円となりました。なお、平成26年度は、交付金の平準化を目的とした国の補正予算に対応し、新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業費18億円を平成27年度に繰越したため、実質収支は22億円となっています。

(2) キャッシュ・フロー計算書の年度別推移について

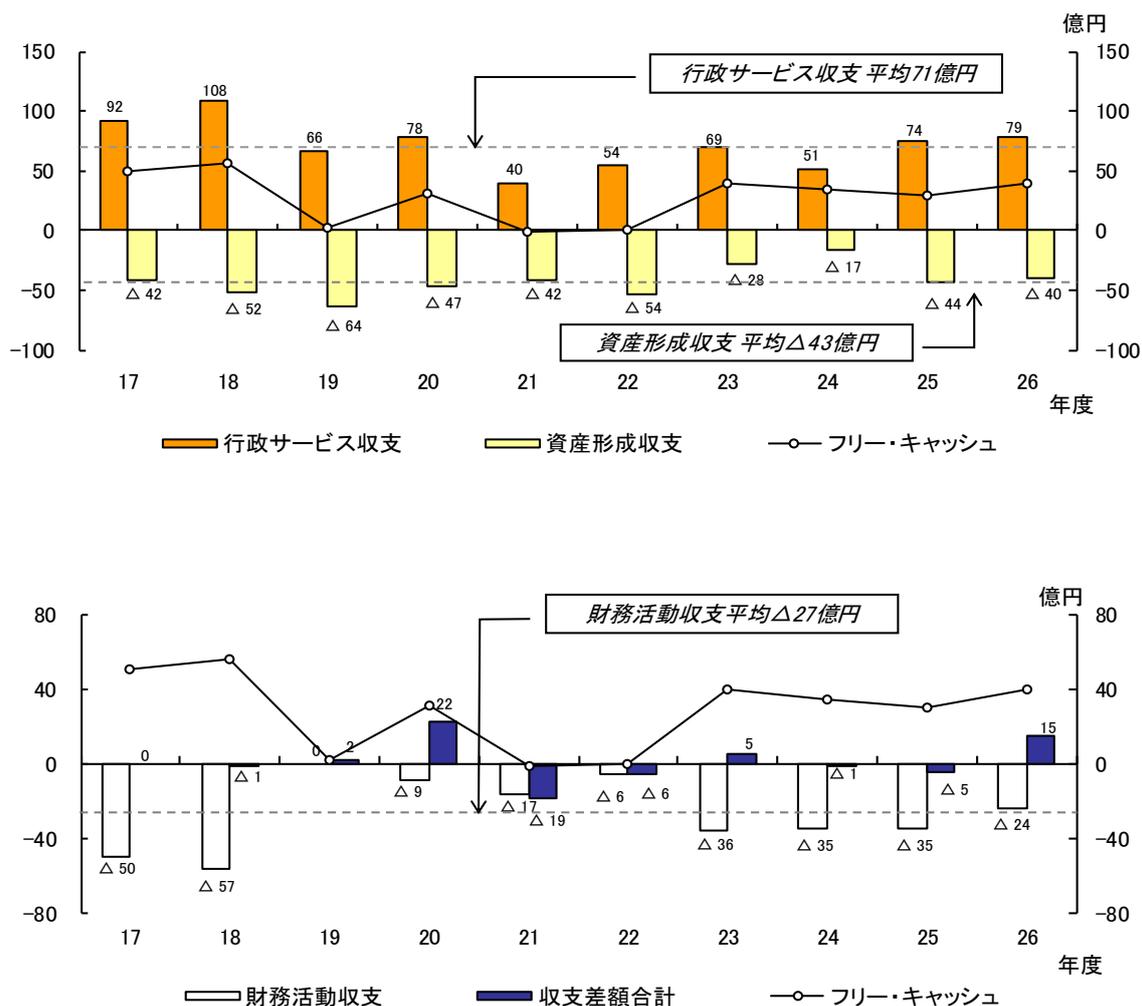
平成17年度決算以降のキャッシュ・フロー計算書の推移は図9のとおりです。行政サービス収支と資産形成収支の合計をフリー・キャッシュ・フローといいます。フリー・キャッシュ・フローをもとに、市債を返済したり、基金を積み立てたりします。逆に、フリー・キャッシュ・フローが赤字になると、市債の借入や基金の取り崩しにより対応しなければなりません。

平成26年度は、支出は扶助費や普通建設事業に伴う経費が増加したため全体では22億円増加し、収入は市税や地方消費税交付金、国庫支出金等で27億円増加しました。行政サービス収支は前年度比5億円増加し、79億円と引き続き大きな黒字を確保しています。

その一方で、平成25年度に実施した武蔵境駅周辺整備（北口広場用地買収、駅舎連続施設北側工事等）や吉祥寺駅改良整備（南北自由通路工事、北口庇設置等）などの減少により資産形成収支の赤字が減少したため、フリー・キャッシュ・フローは前年度比9億円増加し、39億円と大きく黒字となりました。このため、計画的な市債の返済を進めるとともに今後の公共施設や学校施設等の更新に備えて基金の積立を行い、また、（一財）武蔵野市開発公社へ貸付を行った結果、財務活動収支は前年度比11億円減の24億円の赤字となりました。資金の流れをみると、21年度、22年度は武蔵野プレイス建設工事等の資産形成（投資活動）に、23年度から26年度は財務活動（基金の積立等）に大きな支出をしました。

今後、市税の大幅な増加が見込まれない中で、扶助費などの経常的な支出や公共施設の改修や更新がさらに増えることが予想されます。このことから、フリー・キャッシュ・フローが黒字の時に財務活動支出（市債の返済や基金の積立）を積極的に行っていく必要があります。

【図9】キャッシュ・フロー計算書の推移



2 一般会計財務諸表

平成26年度 武蔵野市貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:千円)

借方	金額	構成比	貸方	金額	構成比
【資産の部】			【負債の部】		
1 流動資産			1 流動負債		
(1) 歳計現金(形式収支)	4,031,236	1.4%	(1) 市債翌年度償還予定額	1,691,011	0.6%
(2) 財政調整基金	6,095,324	2.1%	① 固定資産形成分	1,366,134	
(3) 市税等未収金	1,678,534	0.5%	② 減税補てん分	324,877	
(4) 貸倒引当金	△ 140,036	0.0%	(2) 市税等未払金	120	0.0%
流動資産合計	11,665,058	4.0%	流動負債合計	1,691,131	0.6%
2 固定資産			2 固定負債		
(1) 土地	177,489,467	61.1%	(1) 市債(翌年度償還予定額を除く)	16,489,129	5.7%
① 道路・橋りょう	79,337,150		① 固定資産形成分	14,231,740	
② 行政財産	88,608,228		② 減税補てん分	2,257,389	
③ 普通財産	9,544,089		(2) 退職給与引当金	8,609,892	2.9%
(2) 建物・構築物	61,485,351	21.2%			
① 道路・橋りょう	18,258,769		固定負債合計	25,099,021	8.6%
② 行政財産	41,475,759		負債合計	26,790,152	9.2%
③ 普通財産	1,750,823				
(3) 備品・車両	218,980	0.1%	【正味財産の部】		
① 備品	69,415		(1) 国・都支出金	37,818,215	13.0%
② 車両	149,565		(2) 分担金・負担金	244,389	0.1%
(4) 事業負担金	3,772,460	1.3%	(3) 積立金	36,263,711	12.5%
(5) 建設仮勘定	1,767,760	0.6%	(4) 資産形成一般財源	189,278,200	65.2%
固定資産合計	244,734,018	84.3%	正味財産合計	263,604,515	90.8%
3 投資その他			負債・正味財産合計	290,394,667	100.0%
(1) 出資金及び有価証券	2,208,481	0.8%			
① 出資金(出えん金)	2,166,931				
② 有価証券	41,550				
(2) 貸付金	1,618,723	0.5%			
(3) 基金	30,168,387	10.4%			
投資その他合計	33,995,591	11.7%			
資産合計	290,394,667	100.0%			

武蔵野市貸借対照表(前年度比較)

(単位:千円)

借方	25年度	26年度	増減	貸方	25年度	26年度	増減
【資産の部】				【負債の部】			
1 流動資産				1 流動負債			
(1) 歳計現金(形式収支)	2,488,995	4,031,236	1,542,241	(1) 市債翌年度償還予定額	2,146,261	1,691,011	△ 455,250
(2) 財政調整基金	6,091,714	6,095,324	3,610	① 固定資産形成分	1,394,112	1,366,134	△ 27,978
(3) 市税等未収金	1,998,383	1,678,534	△ 319,849	② 減税補てん分	752,149	324,877	△ 427,272
(4) 貸倒引当金	△ 159,537	△ 140,036	19,501	(2) 市税等未払金	900	120	△ 780
流動資産合計	10,419,555	11,665,058	1,245,503	流動負債合計	2,147,161	1,691,131	△ 456,030
2 固定資産				2 固定負債			
(1) 土地	174,696,679	177,489,467	2,792,788	(1) 市債(翌年度償還予定額を除く)	17,109,817	16,489,129	△ 620,688
① 道路・橋りょう	77,769,400	79,337,150	1,567,750	① 固定資産形成分	14,527,551	14,231,740	△ 295,811
② 行政財産	88,104,257	88,608,228	503,971	② 減税補てん分	2,582,266	2,257,389	△ 324,877
③ 普通財産	8,823,022	9,544,089	721,067	(2) 退職給与引当金	8,237,740	8,609,892	372,152
(2) 建物・構築物	62,492,631	61,485,351	△ 1,007,280	固定負債合計	25,347,557	25,099,021	△ 248,536
① 道路・橋りょう	18,108,003	18,258,769	150,766	負債合計	27,494,718	26,790,152	△ 704,566
② 行政財産	42,624,565	41,475,759	△ 1,148,806				
③ 普通財産	1,760,063	1,750,823	△ 9,240	【正味財産の部】			
(3) 備品・車両	269,316	218,980	△ 50,336	(1) 国・都支出金	35,929,718	37,818,215	1,888,497
① 備品	76,164	69,415	△ 6,749	(2) 分担金・負担金	243,081	244,389	1,308
② 車両	193,152	149,565	△ 43,587	(3) 積立金	36,077,942	36,263,711	185,769
(4) 事業負担金	3,984,327	3,772,460	△ 211,867	(4) 資産形成一般財源	184,898,443	189,278,200	4,379,757
(5) 建設仮勘定	256,621	1,767,760	1,511,139	正味財産合計	257,149,184	263,604,515	6,455,331
固定資産合計	241,699,574	244,734,018	3,034,444	負債・正味財産合計	284,643,902	290,394,667	5,750,765
3 投資その他							
(1) 出資金及び有価証券	2,208,481	2,208,481	0				
① 出資金(出えん金)	2,166,931	2,166,931	0				
② 有価証券	41,550	41,550	0				
(2) 貸付金	330,064	1,618,723	1,288,659				
(3) 基金	29,986,228	30,168,387	182,159				
投資その他合計	32,524,773	33,995,591	1,470,818				
資産合計	284,643,902	290,394,667	5,750,765				

平成26年度 武蔵野市行政コスト計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:千円)

項目名		金額	構成比	
【収入の部】	1 現金による収入	市税	38,695,467	68.0%
		国庫支出金	7,631,177	13.4%
		都支出金	4,318,896	7.6%
		使用料・手数料	1,594,949	2.8%
		分担金・負担金・寄附金	409,619	0.7%
		地方消費税交付金	2,135,133	3.7%
		地方特例交付金	45,122	0.1%
		その他 *1	1,945,237	3.4%
		現金による収入 計	56,775,600	99.7%
	2 その他の収入	国・都支出金取崩額	482,883	0.9%
		分担金・負担金・寄附金取崩額	570	0.0%
		市税等未収金減少額	△ 319,849	△0.6%
		市税等未払金増加額	780	0.0%
		雑益	0	0.0%
その他の収入 計		164,384	0.3%	
収入 合計		56,939,984	100.0%	
【支出の部】	1 現金による支出	人件費	8,694,317	16.5%
		物件費	13,331,247	25.3%
		維持補修費	527,514	1.0%
		扶助費	12,857,503	24.4%
		補助費等	5,985,604	11.4%
		公債費(利子分)	262,226	0.5%
		繰出金	5,460,928	10.4%
		災害復旧事業費	0	0.0%
		普通建設事業に伴う経費	1,749,654	3.3%
		現金による支出 計	48,868,993	92.8%
	2 その他の支出	貸倒引当金繰入額	△ 19,501	△0.1%
		減価償却費	3,413,155	6.5%
		① 道路・橋りょう	933,008	
		② 建物・構築物	2,133,096	
		③ 備品	11,466	
		④ 車両	44,707	
		⑤ 事業負担金	290,878	
		有形固定資産除却損等	45,773	0.1%
		退職給与引当金繰入額	372,152	0.7%
		雑損	193	0.0%
その他支出 計	3,811,772	7.2%		
支出 合計		52,680,765	100.0%	
当期収支差額		4,259,219		

*1 その他には、地方譲与税、利子割交付金、財産収入、諸収入などが含まれています。

平成26年度 武蔵野市正味財産増減表

(単位:千円)

項目名	金額
期首正味財産残高	257,149,184
当期収支差額	4,259,219
資産形成に関する収支	2,196,112
国・都支出金・使用料・負担金等	2,389,686
財産収入・諸収入・その他	289,879
国・都支出金・負担金等取崩額	△ 483,453
正味財産増加額	6,455,331
期末正味財産残高	263,604,515

武蔵野市行政コスト計算書(前年度比較)

(単位:千円)

項目名		25年度	26年度	増減	
【収入の部】	1 現金による収入				
	市税	37,502,165	38,695,467	1,193,302	
	国庫支出金	6,639,704	7,631,177	991,473	
	都支出金	4,375,850	4,318,896	△ 56,954	
	使用料・手数料	1,702,313	1,594,949	△ 107,364	
	分担金・負担金・寄附金	257,304	409,619	152,315	
	地方消費税交付金	1,747,110	2,135,133	388,023	
	地方特例交付金	42,911	45,122	2,211	
	その他*	1,859,856	1,945,237	85,381	
	現金による収入計	54,127,213	56,775,600	2,648,387	
2 その他の収入	国・都支出金取崩額	440,090	482,883	42,793	
	分担金・負担金・寄附金取崩額	2,517	570	△ 1,947	
	市税等未収金減少額	△ 188,964	△ 319,849	△ 130,885	
	市税等未払金増加額	2,914	780	△ 2,134	
	雑益	0	0	0	
	その他の収入計	256,557	164,384	△ 92,173	
収入合計		54,383,770	56,939,984	2,556,214	
【支出の部】	1 現金による支出				
	人件費	8,909,700	8,694,317	△ 215,383	
	物件費	13,138,724	13,331,247	192,523	
	維持補修費	494,229	527,514	33,285	
	扶助費	11,978,567	12,857,503	878,936	
	補助費等	5,942,021	5,985,604	43,583	
	公債費(利子分)	293,030	262,226	△ 30,804	
	繰出金	5,159,246	5,460,928	301,682	
	災害復旧事業費	0	0	0	
	普通建設事業に伴う経費	809,895	1,749,654	939,759	
	現金による支出計	46,725,412	48,868,993	2,143,581	
	2 その他の支出	貸倒引当金繰入額	23,529	△ 19,501	△ 43,030
		減価償却費	3,602,069	3,413,155	△ 188,914
		① 道路・橋りょう	1,166,810	933,008	△ 233,802
		② 建物・構築物	2,104,529	2,133,096	28,567
		③ 備品	12,540	11,466	△ 1,074
		④ 車両	47,737	44,707	△ 3,030
		⑤ 事業負担金	270,453	290,878	20,425
		有形固定資産除却損	120,372	45,773	△ 74,599
退職給与引当金繰入額		△ 612,284	372,152	984,436	
過年度減価償却		0	193	193	
その他支出計	3,133,686	3,811,772	678,086		
支出合計		49,859,098	52,680,765	2,821,667	
当期収支差額		4,524,672	4,259,219	△ 265,453	

武蔵野市正味財産増減表(前年度比較)

(単位:千円)

項目名	25年度(A)	26年度(B)	(B)-(A)
期首正味財産残高	250,821,072	257,149,184	6,328,112
当期収支差額	4,524,672	4,259,219	△ 265,453
資産形成に関する収支	1,803,440	2,196,112	392,672
国・都支出金・使用料・負担金等	2,177,157	2,389,686	212,529
財産収入・諸収入・その他	68,890	289,879	220,989
国・都支出金・負担金等取崩額	△ 442,607	△ 483,453	△ 40,846
正味財産増加額	6,328,112	6,455,331	127,219
期末正味財産残高	257,149,184	263,604,515	6,455,331

平成26年度 武蔵野市キャッシュ・フロー計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:千円)

項目名		金額
【行政サービスに関する収支】	市税	38,695,467
	国庫支出金	7,631,177
	都支出金	4,318,896
	使用料・手数料	1,594,949
	分担金・負担金・寄附金	409,619
	地方消費税交付金	2,135,133
	地方特例交付金	45,122
	その他*	1,945,237
	収入計	56,775,600
	人件費	8,694,317
	物件費	13,331,247
	維持補修費	527,514
	扶助費	12,857,503
	補助費等	5,985,604
	公債費(利子分)	262,226
	繰出金	5,460,928
	災害復旧事業費	0
	普通建設事業に伴う経費	1,749,654
	支出計	48,868,993
行政サービスに関する収支差額		7,906,607
【資産形成に関する収支】	国庫支出金	950,799
	都支出金	1,420,581
	使用料・手数料	16,428
	分担金・負担金・寄附金	1,878
	財産収入・諸収入	82,131
	出資金回収	0
	収入計	2,471,817
	普通建設事業費	6,488,813
	出資金及び有価証券	0
	繰出金	0
支出計	6,488,813	
資産形成に関する収支差額		△ 4,016,996
【財務活動に関する収支】	市債(減税補てん分)	0
	市債(固定資産形成分等)	1,111,400
	基金からの繰入金	2,805,301
	貸付金元金回収額	157,953
	収入計	4,074,654
	公債費(元金分)	2,187,340
	貸付金	1,243,612
	積立金	2,991,072
	支出計	6,422,024
財務活動に関する収支差額		△ 2,347,370
収支差額合計		1,542,241
前年度繰越金		2,488,995
当年度歳計現金(形式収支)		4,031,236

*その他には、地方譲与税、利子割交付金、財産収入、諸収入などが含まれています。

武蔵野市キャッシュ・フロー計算書(前年度比較)

(単位:千円)

項目名	25年度	26年度	増減
【行政サービスに関する収支】			
市税	37,502,165	38,695,467	1,193,302
国庫支出金	6,639,704	7,631,177	991,473
都支出金	4,375,850	4,318,896	△ 56,954
使用料・手数料	1,702,313	1,594,949	△ 107,364
分担金・負担金・寄附金	257,304	409,619	152,315
地方消費税交付金	1,747,110	2,135,133	388,023
地方特例交付金	42,911	45,122	2,211
その他*	1,859,856	1,945,237	85,381
収入計	54,127,213	56,775,600	2,648,387
人件費	8,909,700	8,694,317	△ 215,383
物件費	13,138,724	13,331,247	192,523
維持補修費	494,229	527,514	33,285
扶助費	11,978,567	12,857,503	878,936
補助費等	5,942,021	5,985,604	43,583
公債費(利子分)	293,030	262,226	△ 30,804
繰出金	5,159,246	5,460,928	301,682
災害復旧事業費	0	0	0
普通建設事業に伴う経費	809,895	1,749,654	939,759
支出計	46,725,412	48,868,993	2,143,581
行政サービスに関する収支差額	7,401,801	7,906,607	504,806
【資産形成に関する収支】			
国庫支出金	1,030,631	950,799	△ 79,832
都支出金	1,125,479	1,420,581	295,102
使用料・手数料	15,948	16,428	480
分担金・負担金・寄附金	5,099	1,878	△ 3,221
財産収入・諸収入	53,151	82,131	28,980
出資金回収	0	0	0
収入計	2,230,308	2,471,817	241,509
普通建設事業費	6,656,667	6,488,813	△ 167,854
出資金及び有価証券	0	0	0
繰出金	0	0	0
支出計	6,656,667	6,488,813	△ 167,854
資産形成に関する収支差額	△ 4,426,359	△ 4,016,996	409,363
【財務活動に関する収支】			
市債(減税補てん分)	0	0	0
市債(固定資産形成分等)	1,053,800	1,111,400	57,600
基金からの繰入金	1,835,871	2,805,301	969,430
貸付金元金回収額	47,166	157,953	110,787
収入計	2,936,837	4,074,654	1,137,817
公債費(元金分)	2,170,245	2,187,340	17,095
貸付金	46,887	1,243,612	1,196,725
積立金	4,239,253	2,991,072	△ 1,248,181
支出計	6,456,385	6,422,024	△ 34,361
財務活動に関する収支差額	△ 3,519,548	△ 2,347,370	1,172,178
収支差額合計	△ 544,106	1,542,241	2,086,347
前年度繰越金	3,033,101	2,488,995	△ 544,106
当年度歳計現金(形式収支)	2,488,995	4,031,236	1,542,241

3 一般会計財務諸表に対する注記

《 重要な会計方針 》

(1) 基本的な考え方について

財務諸表全体については、決算統計の積み上げ方式を基本としつつ、固定資産については、公有財産台帳及び備品台帳からその残高を確認し、個別資産の取得価額を把握し積み上げる方法で作成しています。

(2) 資産・負債・正味財産の考え方

資産とは、将来にわたり公共サービスを提供することができる能力及び将来の経済的便益を表しています。これは、次世代が受けることのできるサービスといえます。

負債とは、過去の取引から生じた現在の債務であり、これを履行するために経済資源の流出をもたらすものです。これは、いわば次世代が負担する借金などといえます。

正味財産とは、資産と負債の差額ですが、資産形成における納税者からの財源を表しています。これは、現在までの世代がすでに負担し、次の世代に引き継ぐ正味価値といえます。世代間の受益と負担の関係や、財政運営の状況を判断するうえで参考になる数値といえます。

(3) 資産の評価基準

資産形成とその財源の関係を明らかにするという目的から、原則として取得原価により計上しています。

(4) 収入・支出などの認識方法について

市の会計年度は、4月1日に始まり3月31日をもって終了しますが、その後、出納整理期間（4月1日から5月31日）があり、この間も多く現金収支があるため、出納閉鎖日（5月31日）における資産・負債・正味財産を3月末日のものとして計上しています。

(5) 固定資産の計上方法について

① 道路・橋りょう

公有財産台帳には道路・橋りょうについて、法令上記載が要求されておらず、取得価額などに関する情報がないため、決算統計の普通建設事業費を集計し固定資産として計上しています。ただし、決算統計が現在の形式となったのが、昭和45年度であり、昭和44年度以前のものはありません。

② 行政財産・普通財産

公有財産台帳に掲載されている取得価額を、行政財産・普通財産に分けて集計しています。また、建物・構築物について大規模修繕を行った場合は、各年度・施設ごとに3千万円以上を要したものを資本的な支出とみなし、資産として計上しています。

③ 事業負担金について

東京都や他の自治体が事業主体として行う道路や鉄道連続立体交差事業に対して、市が負担金などを支出する場合、市に法的所有権はないものとみなしています。しかし、市民サービスを継続的に提供できるといった経済的な効果に着目して、その年度の費用として計上するのではなく、固定資産として計上しています。

(6) 固定資産の減価償却について

項目	作成資料	減価償却方法	耐用年数	残存価額	
道路・橋りょう	決算統計	定額法	30年	なし	
建物・構築物	公有財産台帳	定額法	40年	1円	
備品・車両	備品台帳	定額法	10年	1円	
事業負担金	道路・橋りょう	決算統計	定額法	21年	なし
	建物・構築物	決算統計	定額法	28年	なし

① 道路・橋りょう

決算統計では、個々の路線別の取得価額が把握できないので備忘記録を残す必要性はないと考え、残存価額は「なし」としています。耐用年数については、過去の事業執行における平均的な数値（年間の平均道路改良率約3.3%）を参考に、30年としました。

② 建物・構築物及び備品・車両

残存価額1円まで減価償却を行っています。耐用年数は法人税法上の耐用年数を参考に定めています。

③ 事業負担金

市に所有権がないものとみなしていることから、残存価額は「なし」とし、耐用年数について通常の7割の期間で早期に償却することとしています。

(7) 引当金

① 貸倒引当金

市税等未収金の一部が回収不能になることに備え、引当金として計上しました。

② 退職給与引当金

将来における市職員に対する退職手当の支給に備えるための引当金です。退職給付会計の考え方をもとに、定年による退職手当支給見込額のうち「現在までに発生していると認められる額」を現在価値に割り引いた金額を負債として計上しています。

◀ 注記事項 ▶

【資産の部】

(1) 流動資産

① 歳計現金

歳計現金は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額であり、決算額は出納閉鎖時点のものであります（形式収支）。

② 財政調整基金

財政調整基金は、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものです。経済変動などによる財源不足や緊急に実施することが必要な事業などの財源に充てられます。

③ 市税等未収金

年度末における市税、分担金・負担金、使用料・手数料、諸収入の未収入金額です。

(2) 固定資産

固定資産とは、土地、道路、橋りょう、建物、備品、車両など、通常1年を超えて長期に所有する資産のことです。資産の種類ごとの金額は表19のとおりです。

【表19】固定資産明細表

(単位：百万円)

資産の種類	前期末 取得価額	当期中 増加額	当期中 減少額	当期末 取得価額	当期末 減価償却 累計額	当期中 償却額	差引当期末 残高
(1) 土地	174,697	3,516	723	177,490	-	-	177,490
① 道路・橋りょう	77,769	1,568		79,337	-	-	79,337
② 行政財産	88,104	1,226	722	88,608	-	-	88,608
③ 普通財産	8,823	722	1	9,544	-	-	9,544
(2) 建物・構築物	130,494	2,103	95	132,502	71,017	3,066	61,485
① 道路・橋りょう	41,728	1,084		42,812	24,553	933	18,259
② 行政財産	85,790	954	95	86,649	45,173	2,059	41,476
③ 普通財産	2,976	65	0	3,041	1,291	74	1,750
(3) 備品・車両	1,338	8	20	1,326	1,107	57	219
① 備品	754	6	17	743	674	12	69
② 車両	584	2	3	583	433	45	150
(4) 事業負担金	7,242	79		7,321	3,549	291	3,772
(5) 建設仮勘定	257	1,638	127	1,768	-	-	1,768
固定資産計	314,028	7,344	965	320,407	75,673	3,414	244,734

(1) 土地、(2) 建物・構築物

① 道路・橋りょう

市民生活の基盤となるインフラ資産として、市が所有する道路・橋りょうなどです。

増 道路用地(16億円)、道路新設改良事業(2億円)、景観道路事業(2億円)など

② 行政財産

市民サービスを行うために直接使用される市役所、学校、文化施設、体育施設、公園、福祉施設などです。

増 公園用地(9億円)、第四中学校用地(3億円)、桜野小学校(西校舎)(3億円)、など

減 武蔵境駅北口第二自転車駐車場などの除却(1億円)、普通財産への用途変更(7億円)

③ 普通財産

直接に行政目的のために使用されない、土地や建物です。具体的には、災害対策職員住宅、諸用地、代替用地など、また、都立施設などに貸している市所有の土地も含まれます。

増 行政財産からの用途変更(7億円)

(3) 備品・車両

市が所有する取得価額100万円以上の備品、車両です。備品の主なものは、防災機器、学校給食の厨房機器、公害測定機器、医療機器などです。車両の主なものは、ごみ収集車、給食運搬車などの市の業務で使用する自動車です。

増 展示ケース、牛乳保冷庫、レモンキャブなど

減 PCサーバー、軽自動車など

(4) 事業負担金

東京都や他の自治体が事業主体として行う道路や鉄道連続立体交差などの建設事業に対して、市が支出した金額の累計額です。

増 都道123号線拡幅整備事業

(5) 建設仮勘定

平成26年度以前に経費を支出した建設事業のうち、施設の引渡しが未了または建設が複数年に渡るため公有財産台帳に登載されていないものを、建設仮勘定として計上しました。

内 訳 新武蔵野クリーンセンター(仮称)(16億8千万円)、市民文化会館改修(9千万円)

(3) 投資その他

① 出資金及び有価証券

出資金及び有価証券は、取得価額を計上しました。このうち、財政援助出資団体は連結対象になります（P43 Ⅲ連結財務諸表参照）。

【表20】出資金（出えん金）一覧

(単位：千円)

項 目		金 額
財政援助出資団体	(一財) 武蔵野市開発公社	10,000
	武蔵野市土地開発公社	5,000
	(公財) 武蔵野市福祉公社	415,995
	(公財) 武蔵野文化事業団	800,000
	(公財) 武蔵野健康づくり事業団	400,000
	(公財) 武蔵野生涯学習振興事業団	500,000
	(社福) 武蔵野	5,000
	(公財) 武蔵野市国際交流協会	3,000
	(公財) 武蔵野市子ども協会	3,000
(一財) 武蔵野市給食・食育振興財団	3,000	
その他の団体	(公財) 東京しごと財団	4,500
	(公財) 東京都農林水産振興財団	1,150
	(公財) 暴力団追放運動推進都民センター	5,586
	(公財) 東京都防災・建築まちづくりセンター	2,000
	(一社) 豊科開発公社	1,000
地方公共団体金融機構	7,700	
合 計		2,166,931

【表21】有価証券一覧

(単位：千円)

項 目	金 額
(株) アトレ	19,500
(株) エフエムむさしの	10,000
(株) ジェイコム武蔵野三鷹	10,000
大東京信用組合	50
(有) 武蔵野交流センター	2,000
合 計	41,550

② 貸付金

貸付金は、武蔵野市開発公社貸付金などで、（一財）武蔵野市開発公社がリファイナンスを行うにあたり一時的に資金が不足するため、不動産を担保に市が経営資金の一部を貸し付けているもの等です。

③ 基金

財政調整基金を除いた特定目的基金は、表22 基金明細表のとおり期末時点で13種類あります。これらはそれぞれ条例で定められており、各基金の積立て、取崩しは毎年度予算で定められています。基金は、「武蔵野市資金管理方針」に基づき、金融機関の経営状況の把握に努めるなど安全性を確保して、定期性預金や債券により運用しています。主な基金の取り崩し・積み立ての状況は以下のとおりです。

(1) 公共施設整備基金

都市計画施設・福祉施設など長期計画に定める市有施設の整備に必要な資金を積み立てるための基金です。平成26年度は、新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業、コミュニティセンターなどの施設改修に充当するため17億円を取り崩し、また今後の支出に備えて20億5千万円を積み立てました。

(2) 学校施設整備基金

学校施設の改築、改修などの施設整備に必要な資金を積み立てるための基金です。平成26年度は小中学校設備等改修工事、桜野小学校増築工事、第四中学校土地購入のために6億2千万円を取り崩し、また今後の支出に備え8億2千万円を積み立てました。

(3) 公園緑化基金

公園用地の確保、緑の保護・育成、緑化推進事業に必要な資金を積み立てるための基金です。平成26年度は公園の新設・リニューアルや仙川水辺環境整備事業のために9千万円を取り崩し、また今後の支出に備えて1億1千万円を積み立てました。

(4) 鉄道連続立体交差化整備基金

鉄道の連続立体交差化事業促進に必要な資金を積み立てるための基金でしたが、事業の終了に伴い基金を廃止しました。

【表22】基金明細表

(単位：千円)

基金名	平成25年度	平成26年度	増減
公共施設整備基金	11,977,896	12,329,151	351,255
学校施設整備基金	8,906,520	9,103,508	196,988
吉祥寺まちづくり基金	3,204,620	3,209,780	5,160
公園緑化基金	4,210,641	4,231,541	20,900
国際交流平和基金	153,343	109,084	△ 44,259
市民たすけ合い基金	416,037	388,078	△ 27,959
鉄道連続立体交差化整備基金	186,800	0	△ 186,800
青少年善行表彰基金	11,722	11,111	△ 611
高齢者住宅運営基金	525,380	525,680	300
武蔵境市民まちづくり基金	7,818	7,820	2
職員能力開発基金	72,735	66,364	△ 6,371
子ども文化・スポーツ・体験活動基金	89,716	85,270	△ 4,446
市民生活総合基金	223,000	101,000	△ 122,000
合計	29,986,228	30,168,387	182,159

【表23】基金の運用状況

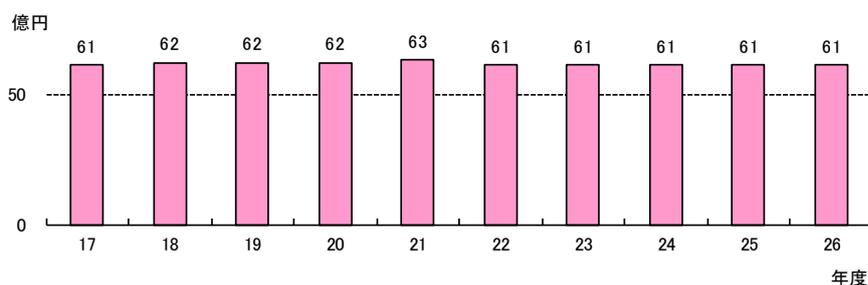
(単位：千円)

運用の種類	平成26年度末残高	構成比%
普通預金及び定期預金	24,174,132	80.1
債券	5,994,255	19.9
合計	30,168,387	100.0

【図10】基金年度末残高の推移



【図11】財政調整基金年度末残高の推移



【正味財産の部】

正味財産は、借方に計上されている資産を形成するにあたり、現在までの世代が負担した財源です。将来世代の負担となる市債は、正味財産とは別に負債に計上されます。

（１）国・都支出金

固定資産の取得の際に、特定財源として充当された国庫支出金及び都支出金の累積額です。固定資産の減価償却に伴い、同様の方法で取り崩しています。

（２）分担金・負担金・寄附金

固定資産等の取得などの際に、特定財源として充当された工事負担金などの累積額です。固定資産の減価償却に伴い、同様の方法で取り崩しています。

（３）積立金

財源の内訳として、流動資産に計上した財政調整基金及び投資その他に計上した基金の合計と同額を計上しました。

（４）資産形成一般財源

資産のうち市税などの一般財源で形成された部分です。武蔵野市の場合は普通交付税の不交付団体のため、主に市民税、固定資産税などの市税によるものです。

【表24】正味財産増減表

(単位：千円)

	平成25年度	平成26年度
期首正味財産合計	250,821,072	257,149,184
国・都支出金		
期首残高	34,213,698	35,929,718
当期受入	2,156,110	2,371,380
当期償却	△ 440,090	△ 482,883
期末残高	35,929,718	37,818,215
分担金・負担金・寄附金		
期首残高	240,499	243,081
当期受入	5,099	1,878
当期償却	△ 2,517	△ 570
期末残高	243,081	244,389
資産形成一般財源・積立金		
期首残高	216,366,875	220,976,385
当期収支差額	4,524,672	4,259,219
財産収入等	69,099	301,559
資産移管等	15,739	4,748
当期純増減	4,609,510	4,565,526
期末残高	220,976,385	225,541,911
期末正味財産合計	257,149,184	263,604,515

◀ その他 ▶

(1) 債務負担行為

債務負担行為とは、地方自治体が建設工事や土地の購入をする場合、数年度にわたる債務を負担する契約を結ぶ等、将来の財政支出を約束する行為で、予算として定めます。債務負担行為は、濫用すると将来の財政運営を悪化させる恐れがあり、予定額を的確に把握する必要があります。また、債務負担行為には、工事請負契約や物件購入契約など将来確実に財政負担となるものと、損失補償や債務保証など財政負担の発生が不確実なものがあります。

【表25】債務負担行為に基づく翌年度以降支出予定額

(単位：千円)

項 目	平成26年度以降 支出予定額 (25年度末現在)	平成27年度以降 支出予定額 (26年度末現在)	増 減
(1) 物件の購入等に係るもの	34,165,615	29,694,929	△ 4,470,686
1 武蔵野市土地開発公社の公共用地先行取得事業	13,333,869	10,406,915	△ 2,926,954
2 新武蔵野クリーンセンター(仮称)整備運営事業	20,340,036	18,849,840	△ 1,490,196
3 環境舗装事業	46,800	26,900	△ 19,900
4 都計道3・3・23号線事業 武蔵境駅北口広場整備工事	114,000	56,410	△ 57,590
5 泉幼稚園跡地利用施設事業	38,600	0	△ 38,600
6 桜野小学校増築事業	175,329	0	△ 175,329
7 保育業務システム改修委託	2,381	0	△ 2,381
8 景観道路事業	52,400	0	△ 52,400
9 区画道路整備事業	15,200	0	△ 15,200
10 歴史資料館開設準備事業	47,000	0	△ 47,000
11 武蔵野市民文化会館改修工事基本・実施設計	0	79,800	79,800
12 武蔵境駅北口第二自転車駐車場立替事業	0	138,000	138,000
13 都計道3・3・23号線事業 武蔵境駅北口広場修景施設整備工事	0	127,320	127,320
14 桜野こどもクラブ第一解体工事	0	9,744	9,744
(2) 債務保証または損失補償に係るもの	16,844,954	10,414,088	△ 6,430,866
1 金融機関に対する債務保証〔武蔵野市土地開発公社〕	16,844,954	10,414,088	△ 6,430,866
2 (一財)武蔵野市開発公社が解散したときの負債	解散時負債	解散時負債	
※債務保証又は損失補償は偶発債務です。債務が発生するような事象は発生していません。従って、金額は翌年度以降に支出する額ではなく、債務保証又は損失補償を付した偶発債務の残高を載せています。			
(3) その他	3,161,771	647,550	△ 2,514,221
1 (公財)武蔵野市子ども協会に対する償還金補助	686,185	647,550	△ 38,635
2 O123施設の管理運営	85,303	0	△ 85,303
3 自然の村の管理運営	26,826	0	△ 26,826
4 コミュニティセンターの管理運営	89,927	0	△ 89,927
5 武蔵野市民文化会館の管理運営	358,036	0	△ 358,036
6 武蔵野芸能劇場の管理運営	59,695	0	△ 59,695
7 武蔵野公会堂の管理運営	57,923	0	△ 57,923
8 スイグホールの管理運営	68,656	0	△ 68,656
9 吉祥寺美術館の管理運営	83,197	0	△ 83,197
10 松露庵の管理運営	6,836	0	△ 6,836
11 吉祥寺シアターの管理運営	80,212	0	△ 80,212
12 デイサービスセンター事業の管理運営	45,099	0	△ 45,099
13 高齢者総合センターの管理運営	95,159	0	△ 95,159
14 北町高齢者センターの管理運営	4,336	0	△ 4,336
15 軽費老人ホームの管理運営	140,234	0	△ 140,234
16 武蔵野商工会館市民会議室の管理運営	9,720	0	△ 9,720
17 体育施設の管理運営	608,007	0	△ 608,007
18 かたらいの道市民スペースの管理運営	5,834	0	△ 5,834
19 武蔵野プレイスの管理運営	509,032	0	△ 509,032
20 みどりのこども館の管理運営	91,201	0	△ 91,201
21 (社福)武蔵野に対する償還金補助	46,137	0	△ 46,137
22 境南ふれあい広場公園の管理運営	4,216	0	△ 4,216

① 物件の購入等に係るもの

物件の購入等に係るものには、複数年度にわたる工事や武蔵野市土地開発公社が先行取得した用地の買戻し費用が計上されています。

② 債務保証または損失補償に係るもの

武蔵野市が行っている債務保証または損失補償に係るものを計上していますが、将来的に必ず支出を予定しているものではなく、保証（補償）対象となる出資団体が事業を行うにあたり融資を受けた元金、利子及び損害金の支払いが不能となった場合に、市が負担する限度額を計上しています。

③ その他

その他には上記の区分に当てはまらない債務負担行為について計上しています。施設の管理運営等を委託する指定管理委託や財援団体に対する償還金補助が主なものです。

本市の公共施設の指定管理委託については、指定期間が5年間で指定年度にその後4年間の債務負担行為を設定します。平成26年度は、指定期間終了年度のため債務負担行為の設定額（平成27年度以降の支出予定額）は0円になります。

（2）一時借入金

武蔵野市では一般会計予算の中で一時借入金の最高額を30億円と定めていますが、平成11年度以降は実績がありません。

（3）職員の退職年金制度について

市の職員は、公的な退職年金制度として全国市町村職員共済組合連合会（平成18年度まで東京都市町村職員共済組合）に加入しています。職員と市及び国はそれぞれ定められた掛け金を連合会に払い込んでおり、職員は退職後には連合会から年金を受け取ります。

全国市町村職員共済組合連合会の年金事業の概要は以下のとおりです。この中に武蔵野市の職員も含まれています（平成27年3月31日現在）。

組合員総数	998,053人	（うち武蔵野市組合員数941人）
年金受給権者数	1,033,975人	（うち武蔵野市受給権者数1,163人）
長期給付積立金	9兆314億円	

4 主な建物一覧表（取得価格3億円以上）

平成27年3月31日現在

（単位：円）

施設名	建物名	取得年月	取得価格	減価償却費	減価償却累計額	差引額
境南小学校	校舎	昭和47年3月	599,800,000	0	599,799,999	1
井之頭小学校	校舎	昭和50年1月	475,990,000	11,899,750	475,989,999	1
中央コミセン	コミセン	昭和50年3月	316,290,000	7,907,250	316,289,999	1
第四中学校	校舎	昭和50年7月	910,000,000	22,750,000	887,250,000	22,750,000
くぬぎ園	くぬぎ園(ホーム)	昭和52年3月	1,387,643,720	34,691,093	1,318,261,534	69,382,186
桜野小学校	校舎	昭和52年6月	545,700,000	13,642,500	504,772,500	40,927,500
本宿小学校	校舎	昭和53年10月	716,800,000	17,920,000	645,120,000	71,680,000
市庁舎	市庁舎	昭和55年6月	4,093,000,000	102,325,000	3,479,050,000	613,950,000
障害者福祉センター	福祉センター	昭和55年10月	321,100,000	8,027,500	272,935,000	48,165,000
第六中学校	校舎	昭和56年3月	352,570,000	8,814,250	299,684,500	52,885,500
市営プール	市営プール(管理棟)	昭和57年5月	395,820,000	9,895,500	316,656,000	79,164,000
第一中学校	体育館(屋上プール)	昭和57年10月	702,000,000	17,550,000	561,600,000	140,400,000
第三中学校	体育館(プール)	昭和58年2月	922,414,000	23,060,350	737,931,200	184,482,800
吉祥寺南町コミセン	コミセン	昭和58年3月	330,957,000	8,273,925	264,765,600	66,191,400
武蔵野芸能劇場	芸能劇場	昭和58年11月	494,750,000	12,368,750	383,431,250	111,318,750
市民文化会館	文化会館	昭和59年5月	5,270,590,000	131,764,750	3,952,942,500	1,317,647,500
市民会館	市民会館	昭和59年7月	420,200,000	10,505,000	315,150,000	105,050,000
クリーンセンター	ごみ処理場	昭和59年10月	1,021,460,000	25,536,500	766,095,000	255,365,000
第二中学校	体育館	昭和59年12月	579,200,000	14,480,000	434,400,000	144,800,000
井之頭小学校	体育館	昭和62年2月	548,800,000	13,720,000	384,160,000	164,640,000
西部コミセン	コミセン	昭和62年5月	360,200,000	9,005,000	243,135,000	117,065,000
保健センター	保健センター	昭和62年9月	1,583,460,000	39,586,500	1,068,835,500	514,624,500
吉祥寺図書館	吉祥寺図書館	昭和62年9月	560,200,000	14,005,000	378,135,000	182,065,000
陸上競技場・体育館	陸上競技場・体育館	平成1年9月	4,203,500,000	105,087,500	2,627,187,500	1,576,312,500
市営プール	温水プール	平成1年9月	958,677,000	23,966,925	599,173,125	359,503,875
第四中学校	体育館・プール棟	平成4年6月	2,615,170,000	65,379,250	1,438,343,500	1,176,826,500
高齢者総合センター	高齢者総合センター	平成5年5月	1,452,300,000	36,307,500	762,457,500	689,842,500
吉祥寺ナーシングホーム	福祉施設	平成6年11月	1,603,170,000	40,079,250	801,585,000	801,585,000
中央図書館	図書館	平成6年11月	3,691,520,000	92,288,000	1,845,760,000	1,845,760,000
千川小学校	校舎	平成7年3月	2,976,900,000	74,422,500	1,488,450,000	1,488,450,000
桜堤ケアハウス	桜堤ケアハウス	平成8年3月	943,365,446	23,584,136	448,098,584	495,266,862
スイングホール	スイングホール	平成8年6月	1,384,602,548	34,615,063	623,071,134	761,531,414
千川小学校	体育館	平成8年10月	1,802,901,000	45,072,525	811,305,450	991,595,550
境保育園	境保育園	平成9年2月	319,300,000	7,982,500	143,685,000	175,615,000
0123はらっぱ	乳幼児施設	平成13年4月	356,160,000	8,904,000	115,752,000	240,408,000
武蔵野商工会館	商工会館	平成13年5月	1,617,315,000	40,432,872	525,627,336	1,091,687,664
桜野小学校	体育館・通級学級等	平成14年4月	782,817,000	19,570,425	254,415,525	528,401,475
武蔵野赤十字病院 感染症病棟	感染症病棟	平成15年4月	400,915,000	10,022,875	110,251,625	290,663,375
吉祥寺シアター	劇場	平成17年2月	550,095,000	13,752,375	137,523,750	412,571,250
大野田小学校	校舎	平成17年3月	3,448,305,000	86,207,625	862,076,250	2,586,228,750
市庁舎西棟	市庁舎西棟	平成19年6月	2,680,608,000	67,015,200	469,106,400	2,211,501,600
桜堤住宅	桜堤住宅	平成21年9月	365,791,370	9,144,784	45,723,920	320,067,450
桜野小学校	北校舎等	平成22年9月	552,405,000	13,810,125	55,240,500	497,164,500
ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス	武蔵野プレイス	平成23年3月	3,960,127,500	99,003,187	396,012,748	3,564,114,752
武蔵境駅舎連続施設 (北側)	屋根	平成26年3月	424,640,000	10,616,000	10,616,000	414,024,000
吉祥寺北口駅前 公共用歩廊	屋根	平成26年3月	391,521,873	9,788,046	9,788,046	381,733,827

III 連結財務諸表

1 連結財務諸表の分析

(1) 連結財務諸表の作成について

一般会計、特別会計、公営企業会計及び市が出資、出えんなどを行い、密接な関連を有する財政援助出資団体までを連結の対象とした連結貸借対照表、連結行政コスト計算書、連結正味財産増減表、連結キャッシュ・フロー計算書の4表を作成しています。財政援助出資団体までを連結の対象にした連結行政コスト計算書、連結正味財産増減表、連結キャッシュ・フロー計算書は平成14年度から作成しています。

(2) 連結の範囲

一般会計、特別会計（下水道事業会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険事業会計）、公営企業会計（水道事業会計）及び財政援助出資団体（15団体）を連結の対象としました。

団体名		業務内容
出資団体	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市における都市開発事業の円滑な推進
	武蔵野市土地開発公社	公共用地の先行取得・管理
	(公財)武蔵野市福祉公社	在宅高齢者に対する健康づくりの情報と福祉サービスの提供
	(公財)武蔵野文化事業団	市民が行う芸術文化の創造活動の援助
	(公財)武蔵野健康づくり事業団	保健医療情報の提供及び各種検診事業、調査研究の実施
	(公財)武蔵野生涯学習振興事業団	生涯学習振興事業、スポーツ振興事業の実施
	(公財)武蔵野市国際交流協会	市民レベルの国際交流事業の促進
	(公財)武蔵野市子ども協会	保育園の運営、子育て支援事業の実施
	(一財)武蔵野市給食・食育振興財団	学校給食の調理、食育事業の実施
	(有)武蔵野交流センター	アンテナショップの運営
援助団体	(公社)武蔵野市シルバー人材センター	高齢者への就業機会の提供
	(社福)武蔵野市民社会福祉協議会	社会福祉事業に関する調査・企画・宣伝
	(社福)武蔵野	地域における必要な福祉サービスの総合的な提供
	武蔵野市民防災協会	防災知識の普及や啓発、地域設置消火器の点検
	(株)エフエムむさしの	放送事業の実施

※ 武蔵野市が加入している一部事務組合と広域連合は次の通りです。連結対象に含めていません。

団体名		業務内容
一部事務組合	湖南衛生組合	し尿処理
	東京たま広域資源循環組合	一般廃棄物の最終処分
	東京都十一市競輪事業組合	収益事業(競輪)
	東京都六市競艇事業組合	収益事業(競艇)
	東京市町村総合事務組合	東京自治会館の管理運営、研修、交通災害共済事業
東京都後期高齢者医療広域連合	長寿医療制度の運営	

(3) 連結財務諸表の概要

【表26】 連結会計 武蔵野市比較連結財務諸表

(単位：億円、%)

		平成25年度	平成26年度	増 減
貸借対照表	資産 (A)	3,567	3,614	47
	負債 (B)	600	596	△ 4
	正味財産 (C = A - B)	2,967	3,018	51
	正味財産比率 (C / A) %	83.2	83.5	0.1ポイント
行政コスト 計算書	行政サービスにかかる収入 (D)	873	871	△ 2
	行政サービスコスト (E)	863	858	△ 5
	収支差額 (F = D - E)	10	13	3
キャッシュ・ フロー計算書	行政サービス収支 (G)	46	100	54
	資産形成収支 (H)	△ 47	△ 46	1
	財務活動収支 (I)	△ 7	△ 31	△ 24
	当期収支差額 (J = G + H + I)	△ 8	23	31
	年度末現金残高	64	87	23

(4) 連結貸借対照表からわかること

平成26年度末の連結資産は3,614億円（前年度比47億円増加）、連結負債は596億円（前年度比4億円減少）、連結正味財産は3,018億円（前年度比51億円増加）となりました。市民1人当たりで見ると、資産は253万円、負債は42万円、正味財産は211万円です。

連結の対象となった特別会計、公営企業、財政援助出資団体は、全体として良好な財務状況といえます。これらは、公的サービスのすべてを直接行政が提供するのではなく、別個の経営団体として民間の経営手法を取り入れ、効率的なサービス提供をすることにその役割があり、団体の組織や職員定数、財政運営状況は市が定期的にチェックしています。

武蔵野市		市民1人当たりで見ると 26年度末 142,899人	市民1人当たり	
資産 3,614億円	負債 596億円		資産 253万円	負債 42万円
	正味財産 3,018億円		正味財産 211万円	

① 資産について

平成26年度の資産合計は3,614億円となりました。現金預金の増加（20億円）や土地・建物等の増加（23億円）などにより、全体として47億円増加しました。資産の主な内訳としては、現金預金87億円、財政調整基金61億円などの流動資産が179億円、土地1,954億円、建物・構築物等970億円などの固定資産が3,083億円、投資その他が352億円です。

② 負債について

平成26年度の負債合計は596億円で、主な内訳は、長期借入金及び短期借入金が446億円、退職給与引当金が97億円です。借入金は前年度比35億円減少し、その内訳は、武蔵野市土地開発公社で19億円減少（土地の買戻し）、一般会計で11億円減少、水道事業会計で3億円減少、（一財）武蔵野市開発公社で3億円減少、下水道事業会計で13億円増加（下水道施設の建設）などです。

③ 正味財産について

平成26年度の正味財産合計は3,018億円（前年度比52億円増加）で、主な内訳としては、国・都支出金451億円、積立金369億円、資産形成一般財源2,115億円などです。正味財産比率（正味財産合計÷資産合計）は、83.5%となり、一般会計と同様に高い水準を維持しており、良好な財務状況にあるといえます。現在の正味財産を将来に渡って維持できるような責任ある財政運営をしていくことが重要であると考えます。

（５）連結行政コスト計算書からわかること

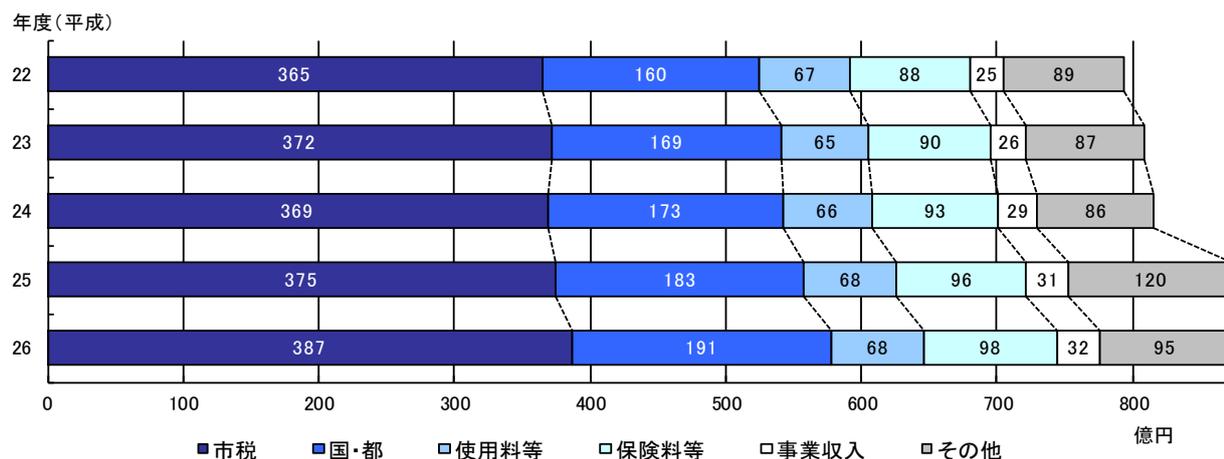
平成26年度は、武蔵野市の一般会計と特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体とを合わせた全体の行政サービスコスト858億円に対し、収入は871億円となり、収支差額は13億円となりました。市民1人当たりで換算すると60万円のコストがかかり、そのうちの12万3千円が保険給付や医療給付の支払いに、10万8千円が物件費に、9万6千円が人件費にかかったこととなります。

【表27】平成26年度武蔵野市連結行政コスト計算書

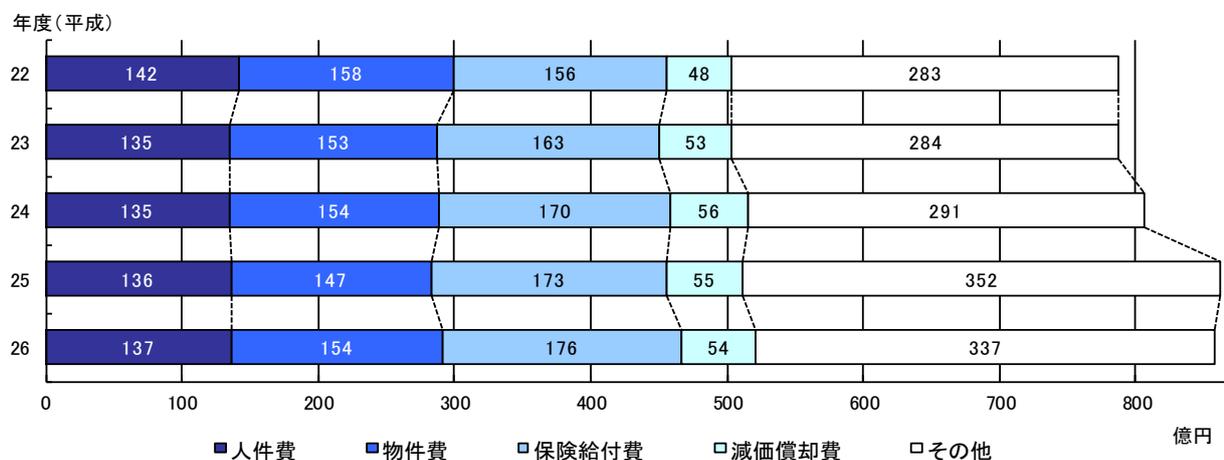
項 目 名		金額（億円）	市民1人当たり （万円）
【収入の部】	市税	387	27.1
	国・都支出金	191	13.3
	使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	68	4.7
	保険料・支払基金交付金	98	6.9
	事業収入	32	2.3
	その他	95	6.6
	収入（合計）	871	60.9
【支出の部】	人件費	137	9.6
	物件費	154	10.8
	公債費（利子分）	7	0.5
	保険給付費・医療給付費	176	12.3
	減価償却費	54	3.8
	退職給与引当金繰入額	8	0.5
	その他	322	22.5
支出（合計）	858	60.0	
当期収支差額	13	0.9	

団体別では、(一財)武蔵野市開発公社、(公財)武蔵野市福祉公社、(公財)武蔵野健康づくり事業団、(社福)武蔵野などの当期収支差額がマイナスになっていますが、これは、事業収入、市からの補助金・事業委託料の減少や、減価償却費・退職給与引当金繰入額の増加によるものです。団体自ら収支改善の努力をするとともに、市としても保有資産の利活用や事業収入の増加等の経営改善を進めるよう指導していきます。

【図13】収入の推移



【図14】支出の推移



(6) 連結キャッシュ・フロー計算書からわかること

【表28】 連結キャッシュ・フローの推移

(単位：億円)

	22	23	24	25	26 ^{年度}
行政サービス収支	54	60	46	46	100
資産形成収支	△49	△40	△28	△47	△46
財務活動収支	△10	△17	△16	△7	△31
収支差額計	△5	3	2	△8	23

① 行政サービス

支出は人件費や保険給付費などで774億円となりました。これに対する収入は市税や国・都支出金、保険料・支払基金交付金を中心とした874億円で、その収支差額は100億円でした。この収支差額は資産形成のための財源となっています。収支差額の主なものは一般会計79億円、武蔵野市土地開発公社24億円、水道事業会計7億円などです。

② 資産形成

87億円の支出に対し、収入は41億円で、収支差額は△46億円となっています。この資金不足は借入金や基金の取崩しにより資金調達されています。収支差額の主なものは、一般会計△40億円、下水道事業会計△17億円などです。

③ 財務活動

基金への積立てや借入金の返済など153億円の支出に対して、新規の借入れや基金の取崩しなどによる収入は122億円で、収支差額は△31億円でした。収支差額の主なものは、一般会計△23億円、下水道事業会計15億円、武蔵野市土地開発公社△19億円などです。

《まとめ》

行政サービスの収支差額100億円、資産形成の収支差額△46億円、財務活動の収支差額△31億円の合計、23億円が当期の収支差額となります。主なものは、一般会計15億円、武蔵野市土地開発公社5億円です。前年度繰越金64億円で当期の収支差額を加えて、当期末の歳計現金残高は87億円となり、この歳計現金は翌年度に繰り越しました。

(7) 一般会計からの繰出状況

一般会計から各団体（会計）に対する支出額は、特別会計へ52億円、公営企業会計へ2億円、財政援助出資団体へ79億円、合計で146億円（前年度比13億円増）となりました。主な増加理由は、（一財）武蔵野市開発公社（借入金の借換えによる繰出金の増など）、下水道事業会計（経営健全化を図るため起債抑制に伴う繰出金の増など）への支出額が増加したためです。

【表29】一般会計からの各団体（会計）に対する支出額前年度比較

（単位：千円）

団体(会計)名		平成25年度	平成26年度	増 減
特別会計	下水道事業会計	768,275	942,382	174,107
	国民健康保険事業会計	1,510,344	1,588,817	78,473
	後期高齢者医療会計	1,148,002	1,171,263	23,261
	介護保険事業会計	1,441,751	1,491,686	49,935
	特別会計 計	4,868,372	5,194,148	325,776
公営企業	水道事業会計	222,853	202,380	△ 20,473
出資団体	(一財)武蔵野市開発公社	39,103	1,236,431	1,197,328
	武蔵野市土地開発公社	2,833,928	2,521,625	△ 312,303
	(公財)武蔵野市福祉公社	295,710	350,520	54,810
	(公財)武蔵野文化事業団	687,446	721,589	34,143
	(公財)武蔵野健康づくり事業団	210,158	200,808	△ 9,350
	(公財)武蔵野生涯学習振興事業団	1,055,533	1,140,139	84,606
	(公財)武蔵野市国際交流協会	59,520	42,282	△ 17,238
	(公財)武蔵野市子ども協会	1,036,405	1,075,220	38,815
	(一財)武蔵野市給食・食育振興財団	654,395	654,782	387
	(有)武蔵野交流センター	1,031	919	△ 112
出資団体 計	6,873,229	7,944,315	1,071,086	
援助団体	(公社)武蔵野市シルバー人材センター	219,541	209,612	△ 9,929
	(社福)武蔵野市民社会福祉協議会	151,393	150,129	△ 1,264
	(社福)武蔵野	830,415	824,477	△ 5,938
	武蔵野市民防災協会	28,629	24,006	△ 4,623
	(株)エフエムむさしの	52,320	24,433	△ 27,887
援助団体 計	1,282,298	1,232,657	△ 49,641	
合 計		13,246,752	14,573,500	1,326,748

2 連結財務諸表

平成26年度 武蔵野市連結貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:千円,%)

借方	金額	構成比	一般会計	特別会計 ・公営企業	財政援助 出資団体	貸方	金額	構成比	一般会計	特別会計 ・公営企業	財政援助 出資団体
【資産の部】						【負債の部】					
1 流動資産						1 流動負債					
(1) 現金預金	8,753,764	2.4%	4,031,236	2,176,755	2,492,969	(1) 短期借入金	2,462,969	0.7%	1,691,011	452,602	319,356
(2) 基金	6,095,324	1.7%	6,095,324			(2) 未払金等	3,741,484	1.0%	120	2,534,515	1,253,829
(3) 未収金等	3,293,035	0.9%	1,678,534	1,315,926	398,359	流動負債合計	6,204,453	1.7%	1,691,131	2,987,117	1,573,185
(4) 貸倒引当金	△ 247,898	0.0%	△ 140,036	△ 98,544	△ 9,318						
流動資産合計	17,894,225	5.0%	11,665,058	3,394,137	2,882,010	2 固定負債					
2-1 有形固定資産						(1) 長期借入金	42,135,742	11.7%	16,489,129	11,716,930	15,129,683
(1) 土地	195,443,269	54.1%	177,489,467	1,434,158	16,519,644	(2) 退職給与引当金	9,671,604	2.7%	8,609,892	602,529	459,183
(2) 建物・構築物等	96,962,532	26.8%	61,485,351	28,481,418	6,995,763	(3) その他	1,522,588	0.4%			1,522,588
(3) その他	12,210,239	3.4%	5,759,200	4,767,672	1,683,367	固定負債合計	53,329,934	14.8%	25,099,021	12,319,459	17,111,454
2-2 無形固定資産	3,617,310	1.0%		79	3,617,231	負債合計	59,534,387	16.5%	26,790,152	15,306,576	18,684,639
固定資産合計	308,233,350	85.3%	244,734,018	34,683,327	28,816,005	【正味財産の部】					
3 投資その他						(1) 国・都支出金	45,072,960	12.5%	37,818,215	4,013,407	3,241,338
(1) 出資金及び有価証券	90,686	0.0%	2,208,481		29,200	(2) 分担金・負担金	412,625	0.1%	244,389	168,236	
(2) 貸付金	434,874	0.1%	1,618,723		16,151	(3) 積立金	36,936,145	10.2%	36,263,711	530,617	141,817
(3) 基金	31,949,203	8.9%	30,168,387	208,269	1,572,547	(4) 基本財産・資本金	7,902,112	2.2%		7,692,513	2,356,594
(4) 基本財産	2,251,194	0.6%			2,251,194	(5) 資産形成一般財源	211,493,325	58.5%	189,278,200	10,574,384	11,640,741
(5) その他	498,022	0.1%			498,022	正味財産合計	301,817,167	83.5%	263,604,515	22,979,157	17,380,490
投資その他合計	35,223,979	9.7%	33,995,591	208,269	4,367,114	負債・正味財産合計	361,351,554	100.0%	290,394,667	38,285,733	36,065,129
資産合計	361,351,554	100.0%	290,394,667	38,285,733	36,065,129						

平成26年度 武蔵野市連結行政コスト計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:千円,%)

項目名	金額	構成比	一般会計	特別会計 ・公営企業	財政援助 出資団体
【収入の部】					
市税	38,695,467	44.5%	38,695,467		
国・都支出金	19,059,264	21.9%	11,950,073	7,109,191	
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,781,571	7.8%	2,004,568	4,777,003	
保険料・支払基金交付金	9,835,881	11.3%		9,835,881	
事業収入	3,225,037	3.7%			9,293,905
その他	9,454,338	10.8%	4,289,876	9,292,260	3,152,375
収入 合計	87,051,558	100.0%	56,939,984	31,014,335	12,446,280
【支出の部】					
人件費	13,667,653	15.7%	8,694,317	565,561	4,407,775
物件費	15,412,383	17.7%	13,331,247	2,816,298	3,936,441
公債費(利子分)	738,312	0.8%	262,226	235,555	240,531
保険給付費・医療給付費	17,587,145	20.2%		17,587,145	
減価償却費	5,387,732	6.2%	3,413,155	1,265,182	709,395
退職給与引当金繰入額	759,077	0.9%	372,152	312,857	74,068
その他	32,220,207	37.1%	26,607,668	9,011,151	3,337,258
支出 合計	85,772,509	98.5%	52,680,765	31,793,749	12,705,468
当期収支差額	1,279,049	1.5%	4,259,219	△ 779,414	△ 259,188

平成26年度 武蔵野市連結正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:千円)

項目名	金額	一般会計	特別会計 ・公営企業	財政援助 出資団体
期首正味財産残高	296,643,555	257,149,184	24,219,611	17,421,755
当期正味財産増加額	5,173,612	6,455,331	△ 1,240,454	△ 41,265
当期収支差額	1,279,049	4,259,219	△ 779,414	△ 259,188
資産形成に関する収支	3,894,563	2,196,112	△ 461,040	217,923
期末正味財産残高	301,817,167	263,604,515	22,979,157	17,380,490

武蔵野市連結貸借対照表(前年度比較)

(一般会計、特別会計、公営企業会計、財政援助出資団体)

(単位:千円)

借方	25年度	26年度	増減	貸方	25年度	26年度	増減
【資産の部】				【負債の部】			
1 流動資産				1 流動負債			
(1) 現金預金	6,705,000	8,753,764	2,048,764	(1) 短期借入金	3,072,718	2,462,969	△ 609,749
(2) 基金	6,091,714	6,095,324	3,610	(2) 未払金等	1,340,519	3,741,484	2,400,965
(3) 未収金等	3,827,920	3,293,035	△ 534,885	流動負債合計	4,413,237	6,204,453	1,791,216
(4) 貸倒引当金	△ 297,324	△ 247,898	49,426				
流動資産合計	16,327,310	17,894,225	1,566,915	2 固定負債			
2-1 有形固定資産				(1) 長期借入金	45,073,669	42,135,742	△ 2,937,927
(1) 土地	194,294,103	195,443,269	1,149,166	(2) 退職給与引当金	8,912,678	9,671,604	758,926
(2) 建物・構築物等	95,826,097	96,962,532	1,136,435	(3) その他	1,614,981	1,522,588	△ 92,393
(3) その他	11,236,704	12,210,239	973,535	固定負債合計	55,601,328	53,329,934	△ 2,271,394
2-2 無形固定資産	3,632,413	3,617,310	△ 15,103	負債合計	60,014,565	59,534,387	△ 480,178
固定資産合計	304,989,317	308,233,350	3,244,033	【正味財産の部】			
3 投資その他				(1) 国・都支出金	43,171,504	45,072,960	1,901,456
(1) 出資金及び有価証券	90,686	90,686	0	(2) 分担金・負担金	3,558,711	412,625	△ 3,146,086
(2) 貸付金	353,560	434,874	81,314	(3) 積立金	36,825,831	36,936,145	110,314
(3) 基金	32,084,453	31,949,203	△ 135,250	(4) 基本財産・資本金	7,902,735	7,902,112	△ 623
(4) 基本財産	2,251,817	2,251,194	△ 623	(5) 資産形成一般財源	205,184,773	211,493,325	6,308,552
(5) その他	560,976	498,022	△ 62,954	正味財産合計	296,643,554	301,817,167	5,173,613
投資その他合計	35,341,492	35,223,979	△ 117,513				
資産合計	356,658,119	361,351,554	4,693,435	負債・正味財産合計	356,658,119	361,351,554	4,693,435

武蔵野市連結行政コスト計算書

(前年度比較)

(単位:千円)

項目名	25年度	26年度	増減
【収入の部】			
市税	37,502,165	38,695,467	1,193,302
国・都支出金	18,250,061	19,059,264	809,203
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,759,275	6,781,571	22,296
保険料・支払基金交付金	9,594,872	9,835,881	241,009
事業収入	3,072,338	3,225,037	152,699
その他	12,084,299	9,454,338	△ 2,629,961
収入合計	87,263,010	87,051,558	△ 211,452
【支出の部】			
人件費	13,633,706	13,667,653	33,947
物件費	14,731,815	15,412,383	680,568
公債費(利子分)	665,858	738,312	72,454
保険給付費・医療給付費	17,300,312	17,587,145	286,833
減価償却費	5,540,487	5,387,732	△ 152,755
退職給与引当金繰入額	△ 551,254	759,077	1,310,331
その他	34,940,588	32,220,207	△ 2,720,381
支出合計	86,261,512	85,772,509	△ 489,003
当期収支差額	1,001,498	1,279,049	277,551

武蔵野市連結正味財産増減計算書

(前年度比較)

(単位:千円)

項目名	25年度	26年度	増減
期首正味財産残高	289,847,646	296,643,555	6,795,909
当期正味財産増加額	6,795,908	5,173,612	△ 1,622,296
当期収支差額	1,001,498	1,279,049	277,551
資産形成に関する収支	5,794,410	3,894,563	△ 1,899,847
期末正味財産残高	296,643,554	301,817,167	5,173,613

平成26年度 武蔵野市連結キャッシュ・フロー計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:千円)

項目名	金額	一般会計	特別会計 ・公営企業	財政援助 出資団体
【行政サービスに関する収支】				
市税	38,695,467	38,695,467		
国・都支出金	19,059,264	11,950,073	7,109,191	
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,786,545	2,004,568	4,781,977	
保険料・支払基金交付金	9,973,000		9,973,000	
事業収入	3,598,662			9,667,530
その他	9,241,756	4,125,492	9,279,181	3,117,256
収入 計	87,354,694	56,775,600	31,143,349	12,784,786
人件費	13,695,101	8,694,317	623,864	4,376,920
物件費	15,433,025	13,331,247	2,931,547	3,841,834
公債費(利子分)	717,621	262,226	235,555	219,840
保険給付費・医療給付費	17,587,145		17,587,145	
その他	29,964,880	26,581,203	8,942,860	1,176,687
支出 計	77,397,772	48,868,993	30,320,971	9,615,281
行政サービスに関する収支差額	9,956,922	7,906,607	822,378	3,169,505
【資産形成に関する収支】				
国・都支出金	3,466,007	2,371,380	1,045,551	49,076
その他	605,682	100,437	279,361	488,320
収入 計	4,071,689	2,471,817	1,324,912	537,396
普通建設事業費等	8,642,076	6,488,813	3,679,574	917,460
支出 計	8,642,076	6,488,813	3,679,574	917,460
資産形成に関する収支差額	△ 4,570,387	△ 4,016,996	△ 2,354,662	△ 380,064
【財務活動に関する収支】				
借入金	8,462,400	1,111,400	1,595,000	6,956,000
基金からの繰入金	3,524,391	2,805,301	242,085	477,005
その他	270,936	157,953	194,572	158,178
収入 計	12,257,727	4,074,654	2,031,657	7,591,183
元金償還額	11,847,355	2,187,340	441,496	9,218,519
積立金	3,309,327	2,991,072	93,783	224,472
その他	155,190	1,243,612		111,578
支出 計	15,311,872	6,422,024	535,279	9,554,569
財務活動に関する収支差額	△ 3,054,145	△ 2,347,370	1,496,378	△ 1,963,386
収支差額合計	2,332,390	1,542,241	△ 35,906	826,055
前年度繰越金	6,368,570	2,488,995	2,212,661	1,666,914
当年度歳計現金(形式収支)	8,700,960	4,031,236	2,176,755	2,492,969

武蔵野市連結キャッシュ・フロー計算書(前年度比較)

(単位:千円)

項目名	25年度	26年度	増減
【行政サービスに関する収支】			
市税	37,502,165	38,695,467	1,193,302
国・都支出金	18,250,061	19,059,264	809,203
使用料・手数料・分担金・負担金・寄附金	6,774,336	6,786,545	12,209
保険料・支払基金交付金	9,722,888	9,973,000	250,112
事業収入	2,860,742	3,598,662	737,920
その他	8,558,614	9,241,756	683,142
収入計	83,668,806	87,354,694	3,685,888
人件費	13,641,202	13,695,101	53,899
物件費	14,768,686	15,433,025	664,339
公債費(利子分)	706,882	717,621	10,739
保険給付費・医療給付費	17,300,312	17,587,145	286,833
その他	32,690,604	29,964,880	△ 2,725,724
支出計	79,107,686	77,397,772	△ 1,709,914
行政サービスに関する収支差額	4,561,120	9,956,922	5,395,802
【資産形成に関する収支】			
国・都支出金	3,449,534	3,466,007	16,473
その他	2,092,546	605,682	△ 1,486,864
収入計	5,542,080	4,071,689	△ 1,470,391
普通建設事業費等	10,213,581	8,642,076	△ 1,571,505
支出計	10,213,581	8,642,076	△ 1,571,505
資産形成に関する収支差額	△ 4,671,501	△ 4,570,387	101,114
【財務活動に関する収支】			
借入金	9,869,230	8,462,400	△ 1,406,830
基金からの繰入金	2,141,086	3,524,391	1,383,305
その他	414,167	270,936	△ 143,231
収入計	12,424,483	12,257,727	△ 166,756
元金償還額	8,265,143	11,847,355	3,582,212
積立金	4,697,099	3,309,327	△ 1,387,772
その他	173,002	155,190	△ 17,812
支出計	13,135,244	15,311,872	2,176,628
財務活動に関する収支差額	△ 710,761	△ 3,054,145	△ 2,343,384
収支差額合計	△ 821,142	2,332,390	3,153,532
前年度繰越金	7,189,581	6,368,570	△ 821,011
当年度歳計現金(形式収支)	6,368,439	8,700,960	2,332,521

平成26年度 武蔵野市連結貸借対照表(明細表)

平成27年3月31日現在

項目	一般会計	特別会計				公営企業		出資団体				
		下水道事業会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療会計	介護保険事業会計	水道事業会計	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(公財)武蔵野市福祉公社	(公財)武蔵野文化事業団	(公財)武蔵野健康づくり事業団	
【資産の部】												
1. 流動資産	11,665,058	202,534	950,793	26,647	375,669	1,838,494	235,077	842,092	144,424	121,437	26,319	
(1) 現金預金	4,031,236	165,838	149,690	13,572	342,392	1,505,263	200,505	842,078	75,825	112,437	16,924	
(2) 基金	6,095,324											
(3) 未収金等	1,678,534	38,465	880,333	15,328	47,068	334,732	34,572	14	68,599	9,000	9,395	
(4) 貸倒引当金	△ 140,036	△ 1,769	△ 79,230	△ 2,253	△ 13,791	△ 1,501						
2. 固定資産	244,734,018	18,990,304				15,693,023	12,235,762	10,834,994	108,603	24,560	37,610	
(1) 土地	177,489,467	1,212,130				222,028	2,857,715	10,833,645				
(2) 建物・構築物等	61,485,351	14,956,343				13,525,075	4,476,295	148	53,896			
(3) その他	5,759,200	2,821,831				1,945,841	1,326,977	278	54,707	4,468	35,702	
2-2. 無形固定資産						79	3,574,775	923		20,092	1,908	
3. 投資その他	33,995,591	132,581	6,000		69,688		879,200	5,050	960,800	873,772	706,936	
(1) 出資金及び有価証券	2,208,481						21,900	50			7,000	
(2) 貸付金	1,618,723											
(3) 基金	30,168,387	132,581	6,000		69,688		355,162		543,326	72,052	199,936	
(4) 基本財産							10,000	5,000	417,474	801,720	500,000	
(5) その他							492,138					
資産合計	290,394,667	19,325,419	956,793	26,647	445,357	17,531,517	13,350,039	11,682,136	1,213,827	1,019,769	770,865	
【負債の部】												
1. 流動負債	1,691,131	166,534	5,988	3,387	4,068	2,807,140	486,952	371,539	85,872	74,665	18,113	
(1) 短期借入金	1,691,011	166,177				286,425	285,000					
(2) 未払金等	120	357	5,988	3,387	4,068	2,520,715	201,952	371,539	85,872	74,665	18,113	
2. 固定負債	25,099,021	7,733,503				4,585,956	5,417,533	10,414,087	78,908	68,958	26,549	
(1) 長期借入金	16,489,129	7,733,503				3,983,427	3,915,000	10,414,087				
(2) 退職給与引当金	8,609,892					602,529	40,162		78,908	38,052	26,549	
(3) その他							1,462,371			30,906		
負債合計	26,790,152	7,900,037	5,988	3,387	4,068	7,393,096	5,904,485	10,785,626	164,780	143,623	44,662	
【正味財産の部】												
(1) 国・都支出金	37,818,215	4,013,407										
(2) 分担金・負担金	244,389	151,770				16,466						
(3) 積立金	36,263,711					530,617						
(4) 基本財産・資本金						7,692,513	10,000	5,000	417,474	801,720	500,000	
(5) 資産形成一般財源	189,278,200	7,260,205	950,805	23,260	441,289	1,898,825	7,435,554	891,510	631,573	74,426	226,203	
正味財産合計	263,604,515	11,425,382	950,805	23,260	441,289	10,138,421	7,445,554	896,510	1,049,047	876,146	726,203	
うち当期期末正味財産増減額	6,455,331	1,288,827	△ 194,699	4,584	△ 125,811	△ 2,213,355	△ 95,835	△ 1,118	△ 40,343	△ 1,824	△ 26,318	
負債・正味財産合計	290,394,667	19,325,419	956,793	26,647	445,357	17,531,517	13,350,039	11,682,136	1,213,827	1,019,769	770,865	

平成26年度 武蔵野市連結行政コスト計算書(明細表)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

項目	一般会計	特別会計				公営企業		出資団体				
		下水道事業会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療会計	介護保険事業会計	水道事業会計	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(公財)武蔵野市福祉公社	(公財)武蔵野文化事業団	(公財)武蔵野健康づくり事業団	
市税	38,695,467											
国・都支出金	11,950,073	6,346	3,434,165		3,668,680							
使用料手数料・分担金負担金	2,004,568	1,389,337			71	3,387,595						
保険料・支払基金交付金			3,129,529	1,966,838	4,739,514							
事業収入							1,310,470	2,755,369	599,570	910,455	127,398	
その他	4,289,876	566,940	5,825,502	1,281,181	1,493,638	124,999	54,275	79,624	98,973	20,726	141,996	
収入計	56,939,984	1,962,623	12,389,196	3,248,019	9,901,903	3,512,594	1,364,745	2,834,993	698,543	931,181	269,394	
人件費	8,694,317	132,109			245,594	187,858	68,153	25,987	420,484	228,579	156,065	
物件費	13,331,247	226,678	53,377	25,668	254,329	2,256,246	644,691	5,483	250,510	656,758	106,611	
公債費(利子分)	262,226	126,704				108,851	122,585	106,835				
保険給付費・医療給付費			8,189,805		9,397,340							
減価償却費	3,413,155	599,008				666,174	486,531	282	8,284	19,967	20,670	
退職給与引当金繰入額	372,152					312,857	1,312		24,390	14,376	3,732	
その他	26,607,668	1,252,862	4,340,713	3,217,767	130,451	69,358	109,761	2,697,271	33,001	13,325	8,239	
支出計	52,680,765	2,337,361	12,583,895	3,243,435	10,027,714	3,601,344	1,433,033	2,835,858	736,669	933,005	295,317	
当期収支差額	4,259,219	△ 374,738	△ 194,699	4,584	△ 125,811	△ 88,750	△ 68,288	△ 865	△ 38,126	△ 1,824	△ 25,923	

平成26年度 武蔵野市連結正味財産増減計算書(明細表)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

項目	一般会計	特別会計				公営企業		出資団体				
		下水道事業会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療会計	介護保険事業会計	水道事業会計	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(公財)武蔵野市福祉公社	(公財)武蔵野文化事業団	(公財)武蔵野健康づくり事業団	
期首正味財産残高	257,149,184	10,136,555	1,145,504	18,676	567,100	12,351,776	7,541,389	897,628	1,089,390	877,970	752,521	
当期正味財産増加額	6,455,331	1,288,827	△ 194,699	4,584	△ 125,811	△ 2,213,355	△ 95,835	△ 1,118	△ 40,343	△ 1,824	△ 26,318	
当期収支差額	4,259,219	△ 374,738	△ 194,699	4,584	△ 125,811	△ 88,750	△ 68,288	△ 865	△ 38,126	△ 1,824	△ 25,923	
資産形成に関する収支・基金調整額	2,196,112	1,663,565				△ 2,124,605	△ 27,547	△ 253	△ 2,217		△ 395	
期末正味財産残高	263,604,515	11,425,382	950,805	23,260	441,289	10,138,421	7,445,554	896,510	1,049,047	876,146	726,203	

(単位:千円)

(公財)武蔵野 生涯学習振興 事業団	(公財)武蔵野 市国際交流協 会	(公財)武蔵野 市子ども協会	(一財)武蔵野 市給食・食育 振興財団	(有)武蔵野交 流センター	援助団体					小計	連結修正	合計
					(公社)武蔵野 市シルバー人 材センター	(社福)武蔵野 市民社会福祉 協議会	(社福)武蔵野	武蔵野市防災 協会	(株)エフエム むさしの			
65,879	8,879	612,531	62,591	10,559	67,710	83,150	469,397	12,588	119,377	17,941,205	△ 46,980	17,894,225
64,186	8,879	586,676	62,388	9,230	40,720	88,204	261,712	10,953	112,252	8,700,960	52,804	8,753,764
1,693		25,855	203	1,329	27,173	4,081	207,685	1,635	7,125	6,095,324		6,095,324
39,636		1,283,689	315	78	399	299,696	3,924,355		26,308	3,392,819	△ 99,784	3,293,035
										△ 247,898		△ 247,898
										308,233,350		308,233,350
39,636		1,282,548	315	41	12	254,956	2,573,328		23,323	195,443,269		195,443,269
		1,141		37	387	43,766	1,115,787		2,685	96,962,532		96,962,532
553,902	7,059	76,642	16,948		24,284	92,231	170,140		150	12,210,239		12,210,239
		100							150	3,617,310		3,617,310
51,702	4,059	73,495	13,948		24,284	16,151	69,443			2,237,681	△ 2,146,995	90,686
500,000	3,000	3,000	3,000			69,443	165,140			1,634,874	△ 1,200,000	434,874
2,200		47				3,000	5,000			31,949,203		31,949,203
659,417	15,938	1,972,862	79,854	10,637	92,393	475,077	4,563,892	12,588	145,835	2,251,194		2,251,194
										498,022		498,022
										364,745,529	△ 3,393,975	361,351,554
63,783	1,865	259,785	62,510	8,801	34,531	23,010	75,551	787	5,421	6,251,433	△ 46,980	6,204,453
		34,356								2,462,969		2,462,969
63,783	1,865	225,429	62,510	8,801	34,531	23,010	75,551	787	5,421	3,788,464	△ 46,980	3,741,484
71,513	4,059	610,867	13,948		5,363	10,637	389,032			54,529,934	△ 1,200,000	53,329,934
		576,704					223,892			43,335,742	△ 1,200,000	42,135,742
42,202	4,059	34,163	13,948		5,363	10,637	165,140			9,671,604		9,671,604
29,311										1,522,588		1,522,588
135,296	5,924	870,652	76,458	8,801	39,894	33,647	464,583	787	5,421	60,781,367	△ 1,246,980	59,534,387
										45,072,960		45,072,960
						83	3,241,255			412,625		412,625
							0			36,936,145		36,936,145
500,000	3,000	3,000	3,000	5,400	52,499	368,903	781,281	11,801	39,814	10,049,107	△ 2,146,995	7,902,112
24,121	7,014	1,099,210	396	△ 3,564			5,000		100,000	211,493,325		211,493,325
524,121	10,014	1,102,210	3,396	1,836	52,499	441,430	4,099,309	11,801	140,414	303,964,162	△ 2,146,995	301,817,167
3,672	△ 15,994	168,713	△ 549	△ 167	△ 1,189	△ 2,373	△ 30,127	△ 677	2,864	5,173,612		5,173,612
659,417	15,938	1,972,862	79,854	10,637	92,393	475,077	4,563,892	12,588	145,835	364,745,529	△ 3,393,975	361,351,554

(単位:千円)

(公財)武蔵野 生涯学習振興 事業団	(公財)武蔵野 市国際交流協 会	(公財)武蔵野 市子ども協会	(一財)武蔵野 市給食・食育 振興財団	(有)武蔵野交 流センター	援助団体					小計	連結修正	合計
					(公社)武蔵野 市シルバー人 材センター	(社福)武蔵野 市民社会福祉 協議会	(社福)武蔵野	武蔵野市防災 協会	(株)エフエム むさしの			
										38,695,467		38,695,467
										19,059,264		19,059,264
										6,781,571		6,781,571
1,180,047	2,757	135,791	654,782	111,331	388,747	19,181	1,021,023	1,422	75,562	9,835,881		9,835,881
4,984	43,446	1,553,782	314	4	69,808	185,019	873,272	24,023	2,129	9,293,905	△ 6,068,868	3,225,037
1,185,031	46,203	1,689,573	655,096	111,335	458,555	204,200	1,894,295	25,445	77,691	16,734,511	△ 7,280,173	9,454,338
514,768	37,554	1,297,469	510,125	21,344	72,747	108,802	898,799	13,808	33,091	13,667,653		13,667,653
599,697	21,987	312,537	98,979	90,060	30,390	76,445	998,260	10,775	33,258	20,083,986	△ 4,671,603	15,412,383
		6,696					4,415			738,312		738,312
										17,587,145		17,587,145
29,483		56,659	252	22	16	2,892	82,555		1,782	5,387,732		5,387,732
10,328	△ 583	6,668	4,053		364	703	8,725			5,387,732		5,387,732
26,878	3,239	6,679	42,236	76	356,276	16,440	17,367	1,539	4,931	759,077		759,077
1,181,154	62,197	1,686,708	655,645	111,502	459,793	205,282	2,010,121	26,122	73,062	38,956,077	△ 6,735,870	32,220,207
3,877	△ 15,994	2,865	△ 549	△ 167	△ 1,238	△ 1,082	△ 115,826	△ 677	4,629	97,179,982	△ 11,407,473	85,772,509
										3,220,617	△ 1,941,568	1,279,049

(単位:千円)

(公財)武蔵野 生涯学習振興 事業団	(公財)武蔵野 市国際交流協 会	(公財)武蔵野 市子ども協会	(一財)武蔵野 市給食・食育 振興財団	(有)武蔵野交 流センター	援助団体					小計	連結修正	合計
					(公社)武蔵野 市シルバー人 材センター	(社福)武蔵野 市民社会福祉 協議会	(社福)武蔵野	武蔵野市防災 協会	(株)エフエム むさしの			
520,449	26,008	933,497	3,945	2,003	53,688	443,803	4,129,436	12,478	137,550	298,790,550	△ 2,146,995	296,643,555
3,672	△ 15,994	168,713	△ 549	△ 167	△ 1,189	△ 2,373	△ 30,127	△ 677	2,864	5,173,612		5,173,612
3,877	△ 15,994	2,865	△ 549	△ 167	△ 1,238	△ 1,082	△ 115,826	△ 677	4,629	3,220,617	△ 1,941,568	1,279,049
△ 205		165,848			49	△ 1,291	85,699		△ 1,765	1,952,995	1,941,568	3,894,563
524,121	10,014	1,102,210	3,396	1,836	52,499	441,430	4,099,309	11,801	140,414	303,964,162	△ 2,146,995	301,817,167

平成26年度 武蔵野市連結キャッシュ・フロー計算書(明細表)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

項目	一般会計	特別会計				公営企業		出資団体			
		下水道事業会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療会計	介護保険事業会計	水道事業会計	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(公財)武蔵野市福祉公社	(公財)武蔵野文化事業団	(公財)武蔵野健康づくり事業団
行政サービスに関する収支											
市税	38,695,467										
国・都支出金	11,950,073	6,346	3,434,165		3,668,680						
使用料手数料・分担金負担金	2,004,568	1,389,337			71	3,392,569					
保険料・支払基金交付金			3,257,637	1,968,714	4,746,649						
事業収入							1,310,102	3,045,933	598,887	909,766	127,875
その他	4,125,492	571,127	5,825,502	1,281,181	1,493,638	107,733	54,275	78,262	98,562	20,683	142,197
収入計	56,775,600	1,966,810	12,517,304	3,249,895	9,909,038	3,500,302	1,364,377	3,124,195	697,449	930,449	270,072
人件費	8,694,317	132,109			245,594	246,161	68,153	26,007	420,087	228,579	156,767
物件費	13,331,247	226,678	53,377	25,668	254,329	2,371,495	624,842	5,363	202,318	683,638	102,942
公債費(利子分)	262,226	126,704				108,851	122,585	86,144			
保険給付費・医療給付費			8,189,805		9,397,340						
その他	26,581,203	1,253,295	4,341,571	3,217,639	130,355		88,344	563,732	44,810	13,235	8,122
支出計	48,868,993	1,738,786	12,584,753	3,243,307	10,027,618	2,726,507	903,924	681,246	667,215	925,452	267,831
行政サービスに関する収支差額	7,906,607	228,024	△ 67,449	6,588	△ 118,580	773,795	460,453	2,442,949	30,234	4,997	2,241
資産形成に関する収支											
国・都支出金	2,371,380	1,045,551									
その他	100,437	260,720				18,641			254,294		
収入計	2,471,817	1,306,271				18,641			254,294		
普通建設事業費等	6,488,813	3,095,961				583,613	55,984	1,319	329,730	21,371	3,488
支出計	6,488,813	3,095,961				583,613	55,984	1,319	329,730	21,371	3,488
資産形成に関する収支差額	△ 4,016,996	△ 1,789,690				△ 564,972	△ 55,984	△ 1,319	△ 75,436	△ 21,371	△ 3,488
財務活動に関する収支											
借入金	1,111,400	1,595,000					4,200,000	2,756,000			
基金からの繰入金	2,805,301				242,085				99,488	23,676	9,084
その他(保証金、敷金、投資等)	157,953	194,572					89,202		11,000		
収入計	4,074,654	1,789,572			242,085		4,289,202	2,756,000	110,488	23,676	9,084
元金償還額	2,187,340	162,721				278,775	4,463,250	4,663,876			
積立金	2,991,072	93,398			385		101,312		28,004	38,052	6,349
その他(保証金、敷金、投資等)	1,243,612						82,448				
支出計	6,422,024	256,119			385	278,775	4,647,010	4,663,876	28,004	38,052	6,349
財務活動に関する収支差額	△ 2,347,370	1,533,453			241,700	△ 278,775	△ 357,808	△ 1,907,876	82,484	△ 14,376	2,735
収支差額合計	1,542,241	△ 28,213	△ 67,449	6,588	123,120	△ 69,952	46,661	533,754	37,282	△ 30,750	1,488
前年度繰越金	2,488,995	194,051	217,139	6,984	219,272	1,575,215	153,844	308,324	38,543	143,187	15,436
当年度歳計現金(形式収支)	4,031,236	165,838	149,690	13,572	342,392	1,505,263	200,505	842,078	75,825	112,437	16,924

会計間取引明細

1 連結行政コスト計算書、連結キャッシュ・フロー計算書(内部取引の相殺)

項目	一般会計	特別会計				公営企業		出資団体			
		下水道事業会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療会計	介護保険事業会計	水道事業会計	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(公財)武蔵野市福祉公社	(公財)武蔵野文化事業団	(公財)武蔵野健康づくり事業団
繰入金											
建設費		253,723				8,713					
公債費		194,767					1,200,000				
事業収入							18,245	2,443,771	200,649	721,589	59,192
その他	435,369	493,892	1,588,817	1,171,263	1,491,686	193,667	18,186	77,854	157,388		141,616
計	435,369	942,382	1,588,817	1,171,263	1,491,686	202,380	1,236,431	2,521,625	358,037	721,589	200,808
繰出金											
建設費	2,443,771										
公債費	1,200,000										
物件費	4,388,316	164,001	210		76,701				7,517		
その他	6,490,256	476	120,338	92,520	21,090	11,190					
計	14,522,343	164,477	120,548	92,520	97,791	11,190			7,517		

2 連結貸借対照表(債権・債務、投資・資本の相殺)

項目	一般会計	特別会計				公営企業		出資団体			
		下水道事業会計	国民健康保険事業会計	後期高齢者医療会計	介護保険事業会計	水道事業会計	(一財)武蔵野市開発公社	武蔵野市土地開発公社	(公財)武蔵野市福祉公社	(公財)武蔵野文化事業団	(公財)武蔵野健康づくり事業団
市からの未収金		0	0	0	0	38,194		4	6,864		6,285
市への未払金		0	0	0	0	0		0	7,517		0
市からの出戻金		0	0	0	0	0	10,000	5,000	415,995	800,000	400,000
市からの貸付金	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市からの借入金		0	0	0	0	0	1,200,000	0	0	0	0

3 連結財務諸表に対する注記

《 重要な会計方針 》

(1) 決算日の取扱い

一般会計と特別会計は、出納整理期間（4月1日～5月31日）を考慮して決算を行っています。公営企業と財政援助出資団体は、3月31日現在で決算を行っています。

(2) 内部取引の相殺

公営企業と財政援助出資団体では、出納整理期間中の市との取引について、市に対する未収金・未払金として計上していますが、これらは現金決済されたものとして決算修正をしています。一般会計と特別会計、あるいは特別会計同士の繰出金及び繰入金は、武蔵野市の内部取引ですので相殺しています。市から財政援助出資団体への補助金、事業委託料等としての支出は、武蔵野市の内部取引ですので相殺しています。

(3) 出資金と基本財産の相殺

市からの出資金と財政援助出資団体の基本財産等とを相殺しています。

(4) 市から財政援助出資団体への貸付金の相殺

市からの貸付金と財政援助出資団体における市からの借入金とを、貸借対照表の資産・負債及びキャッシュ・フロー計算書の収支で相殺しています。

(5) 個別財務諸表の作成

4つの特別会計についてはそれぞれの決算統計に基づいて、行政コスト計算書及びキャッシュ・フロー計算書を作成しました。公営企業会計については、決算書などからキャッシュ・フロー計算書を作成しました。水道事業会計の借入資本金は企業会計上の借入金ですので、正味財産から負債へ振り替えました。武蔵野市土地開発公社の事業用土地は、公社の決算書では流動資産として計上されていますが、ここでは固定資産として計上しています。財政援助出資団体については、事業活動収支計算書、正味財産増減表などから行政コスト計算書を、収支決算書、資金収支計算書などからキャッシュ・フロー計算書を作成しました。

用語集

- ・財政力指数 … 財政基盤の強さを示す指標です。指数が高いほど自主財源の割合が高く財政力が高い団体であり、1以上になると普通交付税の交付対象外となります。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額(標準的な状態で徴収が見込まれる税収入)}}{\text{基準財政需要額(標準的な行政を行うために必要な経費)}}$$

- ・経常収支比率 … 財政構造の弾力性を示す指標で、70～80%が望ましいとされています。都市部では高い傾向にありますが、比率が高いと新たな行政サービスへの対応が困難になります。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源(人件費や扶助費等、毎年経常的に発生する支出に充てられる一般財源)}}{\text{経常一般財源総額(地方税等、毎年収入される使いみちの制限がない収入)+減収補填債特例分+臨時財政対策債}}$$

- ・公債費負担比率 … 地方公共団体が自由に使うことのできる地方税、地方交付税及び地方譲与税などの一般財源が地方債の元利償還金にどの程度充てられているかの割合を示す指標です。この比率が高いほど自由に使える財源の幅が狭まり、財政の弾力性が乏しいこととなります。

一般的に 15%を超えると健全財政の黄信号、20%を超えると赤信号だといわれています。

$$\text{公債費負担比率} = \frac{\text{公債費充当一般財源}}{\text{一般財源総額}} \times 100$$

- ・実質収支比率 … 標準財政規模に対する実質収支の割合を言います。実質収支とは、その年度に属すべき収入と支出の実質的な差額(形式収支から繰越すべき財源を差し引いたもの)、つまり「黒字」または「赤字」を意味しています。一般的に黒字比率は 3～5%が望ましいとされています。

$$\text{実質収支比率} = \frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

・健全化判断比率 … 地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために、4つの財政指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)が健全化判断比率として定められています。健全化判断比率に対して早期健全化基準及び財政再生基準が設けられ、早期健全化基準を超えると財政健全化計画の作成が義務付けられます。さらに財政再生基準を超えると財政再生計画を作成し、国の関与のもと健全化を進めなければなりません。

・実質赤字比率 … 一般会計等での赤字の有無と、標準財政規模に対する割合を表します。赤字を正数で示すため、黒字は負数で示されます。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

・連結実質赤字比率 … 連結実質赤字比率は、特別会計を含む全会計を対象とした実質赤字(又は資金不足額)の合計の標準財政規模に対する割合を表します。連結実質赤字比率は財政健全化法による新しい指標です。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

・実質公債費比率 … 一般会計等が負担する借入金の元利償還金及びこれに準ずる償還金の標準財政規模に対する割合で、3か年の平均値で表します。準元利償還金は、公営企業債の償還に充てられたと認められる特別会計への繰出金や、債務負担行為に係る公債費などです。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

・将来負担比率 … 一般会計等が、将来において返済や支払いが必要となる金額(実質的な負債)の標準財政規模に対する割合です。財政健全化法による新しい指標です。ストック面から健全性を測る指標で、一般会計等が実質的に負担することが見込まれる負債を広く捉えています。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入見込額})}$$

・資金不足比率 … 公営企業を運営する地方公共団体は、公営企業の健全度を測る指標として公営企業会計ごとに資金不足比率を算定することとされています。資金不足比率に対して経営健全化基準が設けられ、この基準を超えると経営健全化計画の作成が義務付けられます。公営企業会計ごとの赤字(資金不足)額の有無と、事業規模(事業収入)に対する割合を表します。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

武蔵野市財務部財政課

〒180-8777

東京都武蔵野市緑町 2-2-28

TEL 0422-60-1803

FAX 0422-51-9141

E-mail sec-zaisei@city.musashino.lg.jp

URL <http://www.city.musashino.lg.jp>